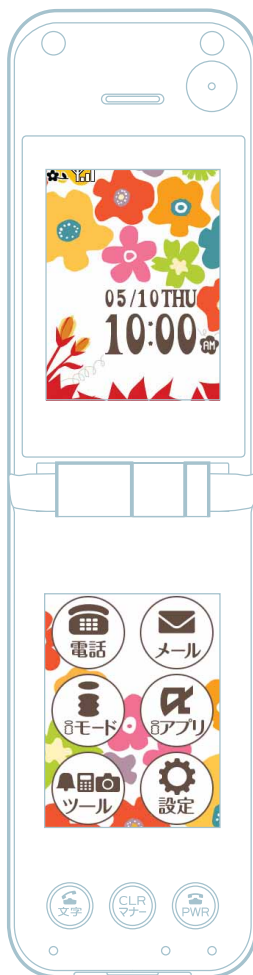
取扱説明書

FOMA® D800iDS ’07.2

6キーモード／3キーモード編

ドコモ　W-CDMA 方式

このたびは、「FOMA D800iDS」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA D800iDS は、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA　端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA 端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA 方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA 端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、日本ジオトラスト株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、別冊の『10キーモード編』を以下の順序でお読みください。FOMA 端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。下記の参照先は『10キーモード編』のページです。

1.安全上のご注意を必ずお守りください（☛P12）
2.電池パックをセットし、充電しましょう（☛P39、P40）
3.電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう（☛P44、P45、P48）
4.本体のキーなどの役割を確認しましょう（☛P24）
5.画面に表示されるアイコンなどの意味を確認しましょう（☛P25）
6.タッチパネルの使いかたや、メニューの操作方法を確認しましょう（☛P28、P31）
また、困ったときの対処方法や、エラーメッセージについても『10キーモード編』をご覧ください（☛340、P342）

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- **「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード**
  （http://www.nttdocomo.co.jp/support/manual/download/index.html）

※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

さまざまな検索方法で、知りたい機能や操作方法を探せます。

FOMA D800iDSの取扱説明書は『10キーモード編』(別冊)と『6キーモード／3キーモード編』(本書)の2冊で構成されています。
「安全上のご注意」は、『10キーモード編』に記載しています。ご使用の前に必ずお読みください。

6キーモード／3キーモードではサービスコードを使ってネットワークサービスを利用できます。機能ごとに決まっている番号を入力して操作します。ただし、6キーモード/3キーモードでは一部利用できないサービスがあります。具体的な操作方法や注意事項については『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

モードについて

D800iDSは、3つのモードが用意されています。モードによって、利用できる機能、メインディスプレイの表示、タッチパネルの表示が異なります。
モード選択については、それぞれ以下をご覧ください。
・モード選択☛P41、P68　・『10キーモード編』☛P46

● 6キーモード
タッチパネルに表示されるキーの数が基本的に6つで構成されるモードです。

● 10キーモード
D800iDSのすべての機能が利用できるモードです。

● 3キーモード
タッチパネルに表示されるキーの数が基本的に3つで構成されるモードです。また、3キーモードではスキャンモードが利用できます。

「索引」から探す　P74

機能名やサービス名から探します。 ▶ 次ページで詳しく説明

「かんたん検索」から探す　P4

よく使う機能や知っていると便利な機能をわかりやすい言葉で探します。 ▶ 次ページで詳しく説明

「表紙インデックス」から探す　表紙

表紙のインデックスを使って、本書をめくりながら探します。 ▶ 次ページで詳しく説明

「目次」から探す　P6

目的別に章に分類された目次から探します。

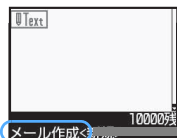
● この「FOMA D800iDS 取扱説明書」の本文中においては、「FOMA D800iDS」を「FOMA 端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
● 本書では、主にテーマカスタマイズの設定が「ベーシック」の場合で説明しています。

● 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

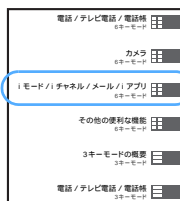
「メールの作成」の記載ページを探すときを例に説明します。

「索引」から探すとき

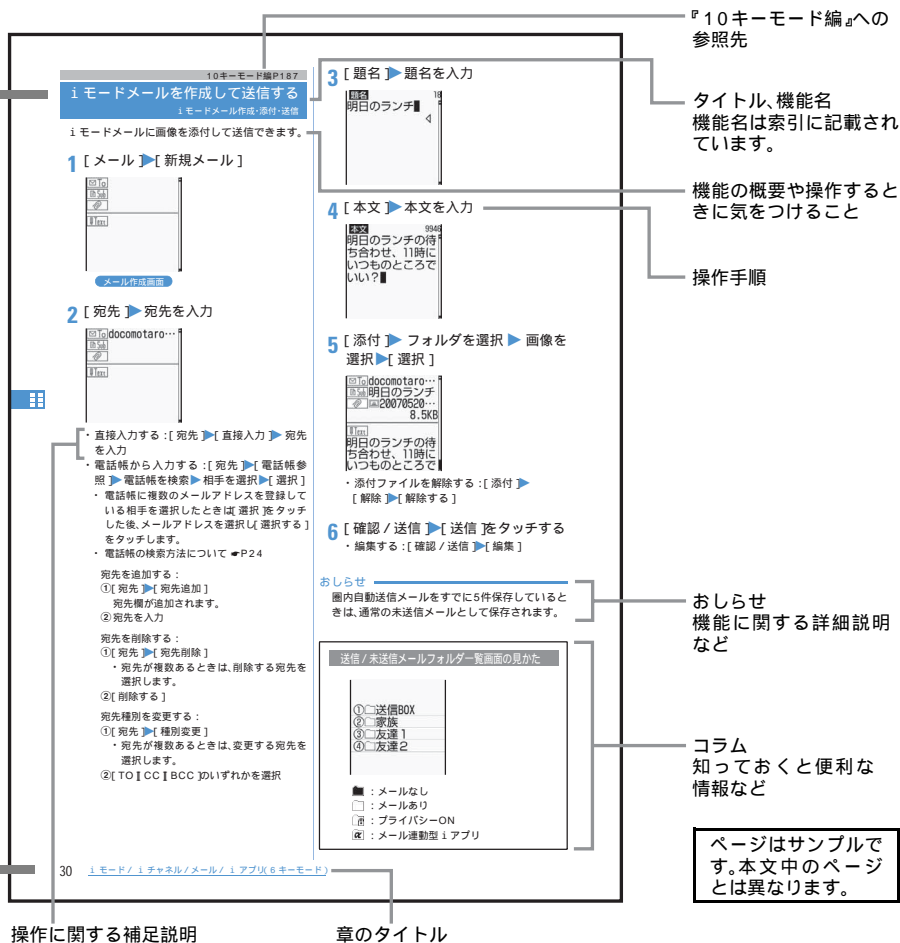
あらかじめ機能名やサービス名がわかっているときは索引から探します。

「かんたん検索」から探すとき

かんたん検索では、よく使う機能や知っていると便利な機能を簡単に探せます。

「表紙インデックス」から探すとき

表紙→章扉（章の最初のページ）→機能の記載ページという順で探します。

● 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
● 本書では、キーの表記を省略しています。また、タッチパネルに表示されるキーは［　］で囲んで表記しています。

実際のキー	本書での表記	タッチパネルの表示	本書での表記※1
CLR マナー	CLR	1	［1］

※1：タッチパネルの表示を省略して記載している場合があります。
（例：メール→［メール］）

- 特に断りがないかぎり、待受画面からの操作手順を記載しています。
- タッチパネル操作を主体で記載しています。ただし、操作方法が複数ある場合は、最も簡単な操作方法を記載しています。
- 入力欄に文字を入力する操作においては、最後に[確定]をタッチする操作を省略しています。なお、文字入力の方法については『10キーモード編』をご覧ください。

かんたん検索

かんたん検索では、よく使う機能や知っていると便利な機能を簡単に探せます。

6キーモード

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

画面表示を知りたい／変えたい

カメラ／メールを使いこなしたい

こんなこともできます

3キーモード

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

画面表示を知りたい／変えたい

こんなこともできます

目次

Contents

3キーモード

ご使用の前に

各部の名称と機能

❶ **受話口**
相手の声がここから聞こえます。

❷ **メインディスプレイ☛P11**

❸ **タッチパネルディスプレイ(タッチパネル)**
タッチパネルをタッチしてさまざまな操作が行えます。

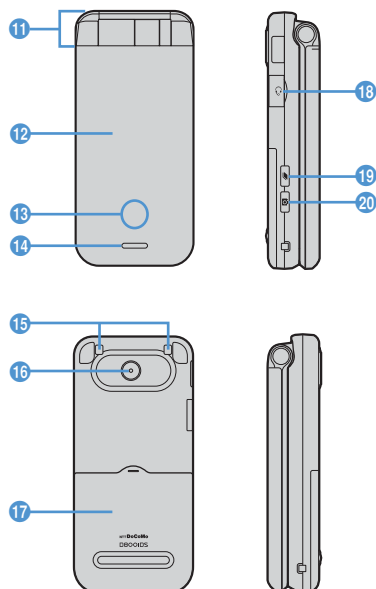
❹ **CLR クリア／マナーモードキー**
文字の消去や、1つ前の画面に戻る、待受メニューと直デンメニューの切り替え操作に使います。また、1秒以上押してマナーモードの設定／解除に使います。

❺ **音声電話開始／スピーカーホン／文字キー**
音声電話をかける／受ける、スピーカーホン機能の切り替え、文字入力時の入力モード切り替えなどに使います。

❻ **インカメラ**
自分を撮影したり(6キーモードのみ)、テレビ電話で自分の映像を送信します。

❼ **電源／終了キー**
通話／操作中の機能の終了、待受画面のカレンダーの表示／非表示の切り替えなどに使います。電源を入れる／切るときは2秒以上押します。

❽ **送話口／マイク**
自分の声を伝えます。

❾ **充電端子**
卓上ホルダ(別売)を使用して充電するときの端子です。

❿ **外部接続端子**
各種オプション品などを接続します。

⓫ **FOMAアンテナ**
アンテナが内蔵されています。

⓬ **ステータスイルミ**
電話着信時やメール受信時、FOMA端末を閉じたときなどに設定したパターンで点灯します。新着情報があるときに点滅します。また、カメラ撮影時などに点灯／点滅します。

⓭ **充電ランプ**
充電中に赤く点灯します。

⓮ **スピーカー**
着信音やスピーカーホン機能利用時の相手の声などがここから聞こえます。

⓯ **ストラップ取付口**

⓰ **アウトカメラ**
人や風景などを撮影します。

⓱ **リアカバー**

⓲ **イヤホンマイク端子**
平型スイッチ付イヤホンマイク(別売)や外部スイッチ接続ケーブル(別売)を接続すると、スイッチを押すだけで設定に従って電話をかけたり受けたりできます。

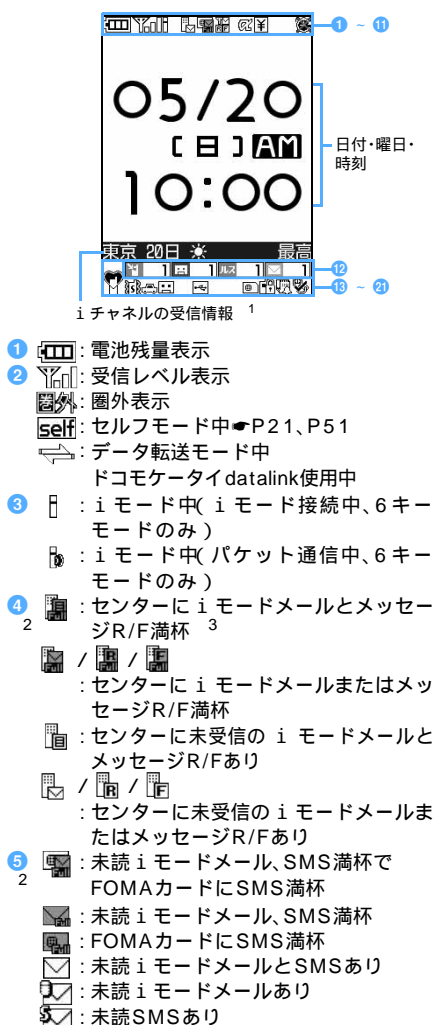
⓳ **TASKキー**
6キーモード／3キーモードでは動作しません。

⓴ **伝言メモ／マナーモードキー**
着ガイドの表示やステータスイルミの表示切り替えに使います。1秒以上押してマナーモードや公共モードなどの設定に使います。

メインディスプレイの見かた

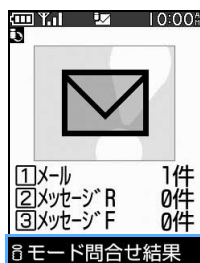
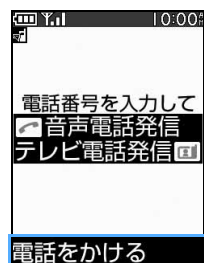
ここではメインディスプレイの上部、下部に表示されるマーク(アイコン)の説明をします。

ｉチャネルの受信情報※1

❶ : 電池残量表示
❷ : 受信レベル表示
: 圏外表示
: セルフモード中☛P21、P51
: データ転送モード中
ドコモケータイdatalink使用中
❸ : ｉモード中(ｉモード接続中、6キーモードのみ)
: ｉモード中(パケット通信中、6キーモードのみ)
❹※2 : センターにｉモードメールとメッセージR/F満杯※3
／／
: センターにｉモードメールまたはメッセージR/F満杯
: センターに未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり
／／
: センターに未受信のｉモードメールまたはメッセージR/Fあり
❺※2 : 未読ｉモードメール、SMS満杯でFOMAカードにSMS満杯
: 未読ｉモードメール、SMS満杯
: FOMAカードにSMS満杯
: 未読ｉモードメールとSMSあり
: 未読ｉモードメールあり
: 未読SMSあり

❻※2 : SSLページ表示中およびSSLページからダウンロードしたｉアプリを使用中またはｉアプリでSSL通信中、TLS/SSLページ表示中(6キーモードのみ)
: 圏内自動送信失敗メールあり
: 圏内自動送信メールあり
❼ ／(青／赤)
: 未読メッセージRあり／満杯※4
❽ ／(緑／赤)
: 未読メッセージFあり／満杯※4
❾ : ｉアプリ動作中(6キーモードのみ)
: ｉアプリDX動作中(6キーモードのみ)
❿ : ハンズフリー対応機器接続中
※2、※5 : 積算通話料金が上限を超過
: スピーカーホン機能ON
⓫ : ｉアプリ自動起動失敗(6キーモードのみ)
⓬ : フォーカスモードアイコン
⓭ : 通常マナーモード中☛P21、P50
: オリジナルマナーモード中
⓮ : 電話着信音量消音設定中
: 音声電話着信のバイブレータ設定中
: 電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中
⓯ : 公共モード(ドライブモード)中☛P21、P50
⓰ : 伝言メモ設定中
: 伝言メモ満杯
⓱ : FOMA USB接続ケーブル(別売)で外部機器に接続中
⓲ : FOMAカード読み込み中
⓳ : ダイヤル発信制限中
⓴ : 目覚まし設定中☛P38、P66
: スケジュールアラーム設定中
: 目覚ましとスケジュールアラームを同時に設定中
㉑※2 : ソフトウェア更新予約中
／(成功／失敗)
: 最新パターンデータの自動更新結果

※1：3キーモードではｉチャネルの操作はできませんが、テロップ表示には対応しています。
※2：現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※3：ｉモードメール、メッセージR/Fのうち1種類が満杯で、その他に未受信のメール／メッセージがある場合にも表示されます。
※4：3キーモードではメッセージR/Fを表示できません。6キーモードまたは10キーモードに切り替えて表示してください。
※5：待受画面以外では、1行下に表示されます。

操作画面について

各操作画面では最下行に画面名称などが表示されます。
本書では表示を省略しています。

10キーモード編P44

電源を入れる／切る

電源ON／OFF

・初めて電源を入れると、ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面が表示されることがあります。

初めて電源を入れる

1 **を2秒以上押す**

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。ウェイクアップ画面の表示まで多少時間がかかります。

2 **確認画面が表示されたら[OK]**

3 **[3キーモード][6キーモード][10キーモード]のいずれかをタッチする**

再起動されます。

電源を切る

1 **を2秒以上押す**

6 キーモードの概要

6キーモードについて

タッチパネルに表示されるキーの数が基本的に6つで構成されるモードを6キーモードと呼びます。

6キーモードへの切り替え方法

3キーモードまたは10キーモードから切り替えます。
- 3キーモードからの切り替え ☛P68
- 10キーモードからの切り替え ☛『10キーモード編』P46

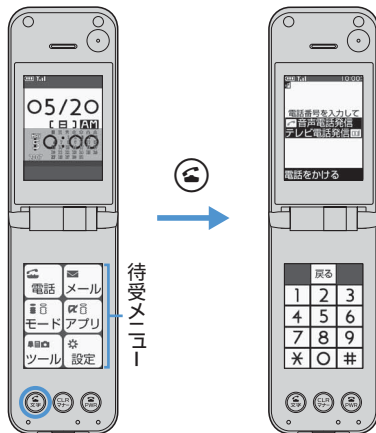
待受メニューからの操作

電源を入れたときや6キーモードに切り替えたとき、メインディスプレイには待受画面、タッチパネルにはメニュー(待受メニュー／直デンメニュー)が表示されます。

待受メニューからのキー操作

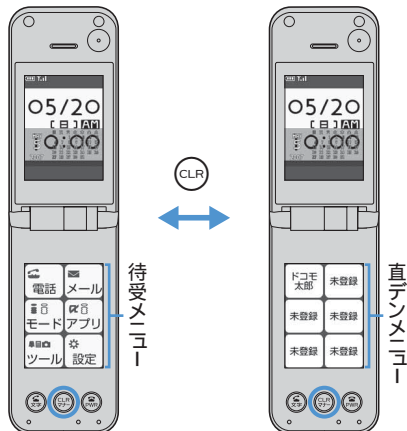
待受メニューで(発信)、(CLR)、(PWR)を押すと、以下の操作が行えます。

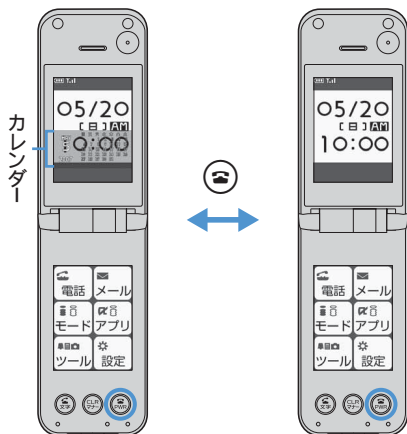
(発信)を押す

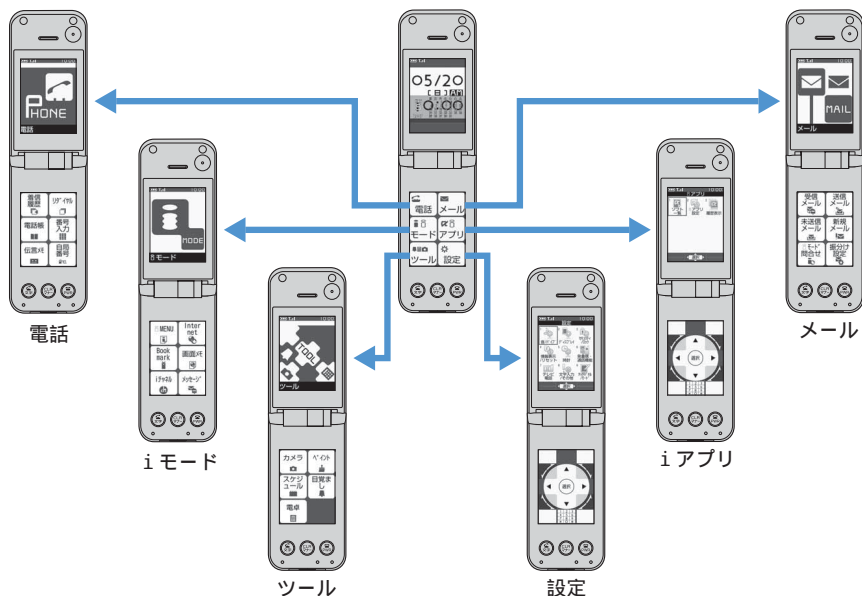
電話番号入力画面が表示されます。
- 電話／テレビ電話をかけるには☛P18

CLR を押す

タッチパネルに表示されるメニュー(待受メニュー／直デンメニュー)を切り替えます。

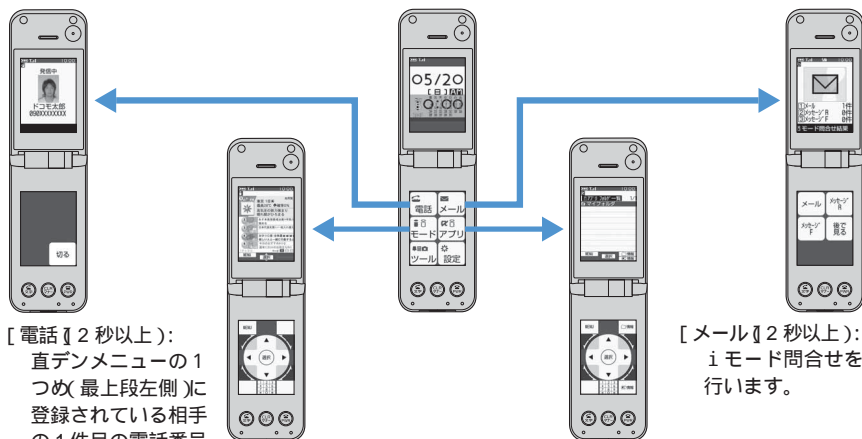
- メニューの組み合わせは3種類から選択できます。☛P40
- 直デンメニューに電話帳データを登録すると簡単に電話をかけられます。☛P25
- CLR を1秒以上押すとマナーモードを設定／解除できます。☛P21

☎ を押す

待受画面のカレンダーの表示／非表示が切り替わります。

- タッチパネルに直デンメニューが表示されているときに☎を押すと、待受メニューに切り替わります。

待受メニューからのタッチ操作

待受メニューのキーをタッチすると各機能のメニュー画面が表示されます。各メニュー画面からはさらに、さまざまな操作が行えます。

待受メニューからの2秒以上のタッチ操作

待受メニューのキーを 2 秒以上タッチすると、以下の操作が行えます。タッチしてから各機能が起動されるまでの間、経過を示すバーが表示されます。

- 2秒より短い場合、通常のタッチ操作と同じ画面が表示されます。

[電話](2 秒以上):
直デンメニューの1つめ(最上段左側)に登録されている相手の1件目の電話番号に音声電話をかけます。

[ｉモード](2 秒以上):
ｉチャネルを起動します。

[ｉアプリ](2 秒以上):
フォルダ一覧画面を表示します。

[メール](2 秒以上):
ｉモード問合せを行います。

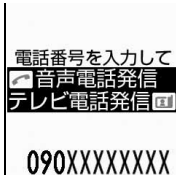
電話／テレビ電話／電話帳(6キーモード)

電話／テレビ電話をかける

例 音声電話をかけるとき

1 [電話]▶[番号入力]

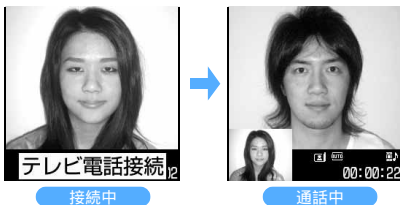
・を押しても同様に操作できます。

2 電話番号を入力

・電話番号を訂正する：[クリア]またはCLR

3 [ ]

「プップップッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。

音声電話のとき

通話中

・を押しても操作できます。
・テレビ電話をかける：[ ]

テレビ電話のとき

接続中

通話中

4 通話が終わったら[切る]をタッチする

・を押しても操作できます。
・通話中にFOMA端末を閉じると、通話が終了します。

おしらせ

●FOMA端末をハンズフリー対応機器と接続して、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。
●サブアドレスを指定して電話をかけられます。☛『10キーモード編』P63
●パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル(別売)で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。☛『10キーモード編』P86

通話中に保留にする　通話中保留

1 通話中に[保留]をタッチする

音声電話保留中

テレビ電話保留中

・保留中に[保留解除]またはを押すと、保留が解除されます。テレビ電話の保留を解除すると、保留前に送信していた画像に戻ります。
・保留中に[切る]またはを押すと、電話が切れます。

スピーカーホン機能を利用する

1 [電話]▶[番号入力]▶電話番号を入力▶[ ]を1秒以上または[ ]をタッチする

・音声電話の場合は、[ ]の代わりにを1秒以上押しても操作できます。
・テレビ電話の場合は自動的にスピーカーホン機能がONになります。
・通話中に受話音量を調整できます。☛P20

■ **通話中にスピーカーホンに切り替える：[スピーカーON]/[スピーカーOFF]または**

・発信中、呼出中はを押すたびにスピーカーホン機能のON/OFFを切り替えられます。

■ **スピーカーの音量を調整する：通話中に[受話音量]▶[上げる]または[下げる]**

プッシュ信号(DTMF)を送出する　DTMF送信

1 通話中に[ダイヤル]▶[0]～[9]、[＊]、[#]をタッチする

ポース、タイマーを入力する

音声電話の場合、10キーモードの場合と同様の操作でポーズ(P)、タイマー(T)が入力できます。
☛『10キーモード編』P54

リダイヤル/着信履歴を利用する

リダイヤル/着信履歴

例 リダイヤルから電話をかけるとき

1 [電話]▶[リダイヤル]

リダイヤル一覧が表示されます。

① ドコモ太郎
② 090XXXXXXXX
③ 携帯春子
④ 携帯秋子

・着信履歴から電話をかける:[電話]▶[着信履歴]
・[前のページ]または[次のページ]をタッチして一覧を切り替えられます。

2 相手を選択

詳細画面が表示されます。

ドコモ太郎
05/20(日) 10:00
電話をかけました
090XXXXXXXX

・[前のリダイヤル]または[次のリダイヤル]をタッチして詳細画面を切り替えられます。着信履歴の場合は[前の着信履歴]または[次の着信履歴]をタッチして詳細画面を切り替えられます。

3 [音声発信]または[テレビ電話発信]をタッチする

・音声電話の場合は☎を押しても操作できます。

リダイヤル/着信履歴一覧の操作

■ **電話帳に登録する:相手を選択▶[MENU]▶[電話帳登録]**
・以降の操作は「FOMA端末電話帳に登録する」の操作2以降と同じです。☛P23

■ **リダイヤル/着信履歴を削除する:相手を選択▶[MENU]▶[削除]▶[削除する]**

■ **iモードメールを送信する:相手を選択▶[メール作成]**
履歴の電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合は、1件めのメールアドレスが宛先に設定されたメール作成画面が表示されます。
・以降の操作は「iモードメールを作成して送信する」の操作3以降と同じです。☛P31

10キーモード編P60

1回の通話ごとに電話番号を通知/非通知にする

186/184

発信者番号を通知する

1 [電話]▶[番号入力]▶[1][8][6]▶電話番号を入力▶[☎]または[📹]をタッチする

発信者番号を通知しない

1 [電話]▶[番号入力]▶[1][8][4]▶電話番号を入力▶[☎]または[📹]をタッチする

おしらせ

●電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知しておかけ直しください。

10キーモード編P61

国際電話を利用する

WORLD CALL

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

1 [電話]▶[番号入力]▶[0][0][9][1][3][0]▶[0][1][0]▶国番号▶地域番号(市外局番)▶電話番号を入力▶[☎]をタッチする

おしらせ

●上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録できます。
●地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には「0」を除いてダイヤルしてください(ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です)。

「＋」を利用して国際電話をかける

- 10 キーモードで、国際ダイヤル設定の自動付加設定を「自動付加」に設定しておく必要があります。

1 [電話]▶[番号入力]▶[0](1秒以上)▶国番号▶地域番号(市外局番)▶電話番号を入力▶[発信]

- 国番号に日本の国番号「81」を付けて発信した場合は、国際アクセス番号は付加されません。

2 [付加する]をタッチする

10キーモード編P65

電話／テレビ電話を受ける

例 音声電話を受けるとき

1 電話がかかってくる

- 着信中に[カメラ]を押して着信音とバイブレータの動作を止めることができます。

2 [出る]

音声電話のとき

通話中

- [通話]を押しても受けられます。
- テレビ電話を受ける：自画像を送信するには[自画像で出る]または[通話]を押す、代替画像を送信するには[代替画像で出る]をタッチ
- 代替画像にキャラ電は利用できません。

テレビ電話のとき

接続中

通話中

3 通話が終わったら[切る]をタッチする

- [終話]を押しても操作できます。

10キーモード編P67

音声電話／テレビ電話を切り替えて電話を受ける

- 切替要求を受けるには、10 キーモードでテレビ電話切替通知を開始しておく必要があります。

例 音声電話からテレビ電話へ切り替えて電話を受けるとき

1 音声電話通話中にテレビ電話への切替要求を受ける

2 [表示する]をタッチする

テレビ電話に切り替わり、相手に自画像が送信されます。

- 代替画像を送信する：[表示しない]または[CLR]

■ **テレビ電話から音声電話に切り替えて電話を受ける**

テレビ電話通話中に音声電話への切替要求を受けると自動的に音声電話へ切り替わります。

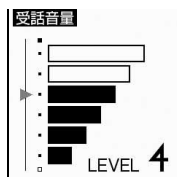
10キーモード編P69

通話中に相手の声の音量を調整する

受話音量

1 通話中に[受話音量]

2 [上げる]または[下げる]で音量調整

10キーモード編P72

すぐに電話に出られないときに保留にする　応答保留

1 着信中に[応答保留]

音声電話応答保留中

テレビ電話応答保留中

- を押しても保留にできます。
- 応答保留中に[**切る**]または を押すか、相手が電話を切ると、電話が切れます。

2 電話に出られる状態になったら[出る]をタッチする

- を押しても電話に出られます。
- テレビ電話の場合、自画像を送信するには[**自画像で出る**]または を押します。代替画像を送信するには[**代替画像で出る**]をタッチします。

10キーモード編P113、73、138

マナーモード／公共モード／セルフモードを利用する

電話から鳴る音を消す　マナーモード

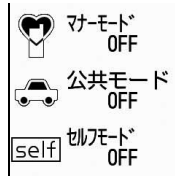
1 CLRを1秒以上押す

マナーモードが設定され、待受画面にが表示されます。

- （1秒以上）▶[**マナーモードをON**]をタッチしても設定できます。

■ **解除する：CLR（1秒以上）**
- （1秒以上）▶[**マナーモードをOFF**]をタッチしても解除できます。

公共モード（ドライブモード）を設定する

1 （1秒以上）

2 [公共モードをON]をタッチする

公共モード（ドライブモード）が設定され、待受画面にが表示されます。

■ **解除する：[公共モードをOFF]**

公共モード（電源OFF）を設定する

1 [電話]▶[番号入力]▶[＊][2][5][2][5][1]▶[ ]をタッチする

公共モード（電源OFF）が設定されます。続けて電源を切ると、公共モード（電源OFF）が動作します。

■ **解除する：[電話]▶[番号入力]▶**
[＊][2][5][2][5][0]▶[ ]

■ **設定を確認する：[電話]▶[番号入力]▶**
[＊][2][5][2][5][9]▶[ ]

セルフモードを設定する

1 （1秒以上）

2 [セルフモードをON]▶[設定する]をタッチする

セルフモードが設定され、待受画面にselfが表示されます。

■ **解除する：[セルフモードをOFF]▶**
[解除する]

10キーモード編P75

電話に出られないときに用件を録音／録画する　伝言メモ

伝言メモで応答する

電話に出られないときに相手の用件を録音／録画できます。

- 10キーモードで伝言メモを設定している場合は、設定に従って動作します。

1 電話がかかってくる

2 [伝言メモ]

相手のメッセージが録音または録画されます。

音声電話伝言メモ録音中

テレビ電話伝言メモ録音中

- [カメラボタン]を1秒以上押しても伝言メモで応答できます。

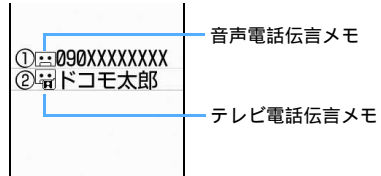
3 録音または録画が終了すると、電話が切れる

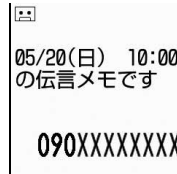
着ガイドが表示されます。

- 着ガイドについては☛P23

おしらせ

● 応答ガイダンス中、伝言メモ録音／録画中でも電話に出られます。音声電話の場合は、[**出る**]または[通話ボタン]を押します。テレビ電話の場合、自画像を送信するには[**自画像で出る**]または[通話ボタン]を押します。代替画像を送信するには[**代替画像で出る**]をタッチします。
電話に出た場合、それまで録音／録画された内容は記録されません。

伝言メモを再生する

1 [電話] ▶ [伝言メモ]

2 伝言メモを選択

- [**前の伝言**]または[**次の伝言**]をタッチして伝言メモを選べます。

■ **音声電話をかける：[音声発信]または**[通話ボタン]

■ **テレビ電話をかける：[テレビ電話発信]**

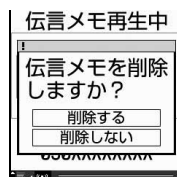
■ **削除する：[削除] ▶ [削除する]**

3 [再生]

再生が終了すると、再生した伝言メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

音声電話伝言メモの場合

- 再生中は次の操作ができます。
  - 停止：[**停止**] ▶ [**OK**]
  - 音量調整：[**再生音量**] ▶ [**上げる**]または[**下げる**]
  - 削除：[**削除**] ▶ [**削除する**]

4 [削除する]または[削除しない]をタッチする

不在着信、伝言メモ、留守番、未読メールがあったとき

着ガイド

不在着信、未再生の伝言メモ、留守番電話サービスの伝言メッセージ、未読の受信メールの存在は、着ガイドでお知らせします。

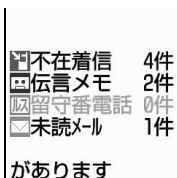
- 何も操作しないまま約60秒が経過すると、着ガイドは自動的に消えます。［**戻る**］または CLR を押して表示を消すこともできます。
- フォーカスモードアイコンが表示中の待受画面から 📷 を押すと着ガイドを表示できます。
- FOMA端末を開いて操作中に、いずれかの件数が増加すると、待受画面に戻す操作をしたときに着ガイドが表示されます。

例 不在着信を確認するとき

1 FOMA端末を開く

着ガイドが表示されます。

2 ［不在着信］をタッチする

①090XXXXXXXX
②ドコモ太郎
③携帯春子
④03XXXXXXXX

- ［**前のページ**］または［**次のページ**］をタッチしてページを切り替えられます。

■ **電話をかける：相手を選択▶［音声発信］または［テレビ電話発信］**

■ **伝言メモを再生する：［伝言メモ］▶伝言メモを選択▶［再生］**

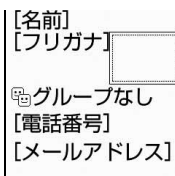
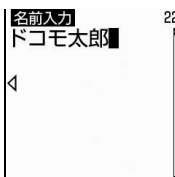
■ **留守番電話サービスの伝言メッセージを再生する：［留守番電話］▶［再生する］**

■ **未読メールを表示する：［未読メール］▶フォルダを選択▶メールを選択**

10キーモード編P89

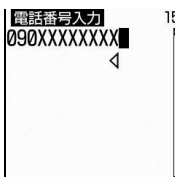
FOMA端末電話帳に登録する

電話帳登録

1 ［電話］▶［電話帳］▶［新規登録］

2 ［名前フリガナ］▶名前を入力

- 名前を入力しないと登録できません。

3 ［入力する］▶フリガナを修正

- フリガナを修正しない：［**入力しない**］

4 ［電話番号］▶電話番号を入力

5 ［メールアドレス］▶メールアドレスを入力

6 ［グループ］▶グループを選択

- ［前のページ］または［次のページ］をタッチして一覧を切り替えられます。

7 ［画像選択］▶フォルダを選択▶画像を選択▶［選択］

8 ［登録］をタッチする

10キーモード編P94

FOMA端末電話帳から電話をかける

電話帳検索

電話帳データは行検索またはグループ検索ができます。

行検索する

1 ［電話］▶［電話帳］

2 ［行検索］▶［あ行］～［その他］

- ［前のページ］または［次のページ］をタッチして一覧を切り替えられます。

3 相手を選択

10キーモードで電話番号やメールアドレスが複数登録されている場合は以下のように表示されます。

4 ［音声発信］または［テレビ電話発信］をタッチする

- 音声電話の場合は、［**音声発信**］の代わりに(発信キー)を押しても操作できます。
- 10キーモードで複数の電話番号が登録されている相手の場合は、電話番号を選べます。

■ **メールを送信する：相手を選択▶［メール作成］**

- 以降の操作は「ｉモードメールを作成して送信する」の操作3以降と同じです。☛P31

グループで検索する

1 ［電話］▶［電話帳］

2 ［グループ検索］▶グループを選択

- ［前のページ］または［次のページ］をタッチして一覧を切り替えられます。
- 以降の操作は「行検索する」の操作3以降と同じです。

10キーモード編P99、102

FOMA端末電話帳を修正／削除する

電話帳修正／電話帳削除

例 電話帳を修正するとき

1 電話帳を検索▶相手を選択

2 ［MENU］▶［編集］

- 削除する：［**MENU**］▶［**削除**］▶［**削除する**］

3 電話帳データを修正▶［登録］

- 操作方法は「FOMA端末電話帳に登録する」の操作2～7と同じです。☛P23

4 ［登録する］をタッチする

少ないキー操作で電話をかける

10キーモードで登録したFOMA端末電話帳のメモリ番号が0～9の相手には、簡単な操作で電話がかけられます。

1 ［電話］▶［番号入力］

・Ⓒを押しても同様に操作できます。

2 メモリ番号を入力

3 ［ ］または［ ］をタッチする

・音声電話の場合は、［ ］の代わりに Ⓒ を押しても操作できます。

直デンメニューを利用する

直デンメニュー

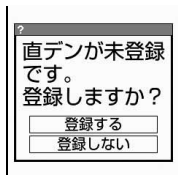
直デンメニューに電話帳データを登録すると、簡単に電話をかけられます。

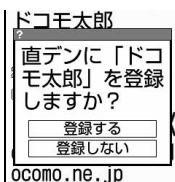
直デンメニューを登録する

1 CLR

直デンメニューが表示されます。

タッチパネル

2 ［未登録］

3 ［登録する］

4 電話帳を検索▶相手を選択▶［選択］

5 ［登録する］をタッチする

・直デンメニューには登録した相手の名前が表示されます。

おしらせ

●登録した電話帳データに画像が登録されている場合は、直デンメニューには画像が表示されます。

●以下の場合、直デンの登録が解除されます。

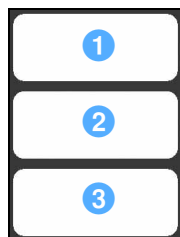
・直デンメニューに登録されている電話帳データを削除したとき

・直デンメニューに登録されている電話帳データに、10キーモードでシークレット属性設定中にモードを切り替えたとき

・10キーモードで、直デンメニュー登録済みの電話帳データと同じメモリ番号を指定して電話帳を登録したとき

●直デンメニューの登録は、6キーモードと3キーモードで以下のように対応しています。

6キーモード

3キーモード

直デンメニューを変更／解除する

直デンメニューを変更する

1 CLRで直デンメニューを表示

タッチパネル

2 登録済みのキーをタッチ

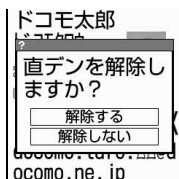
3 ［上書き登録］

- 以降の操作は「直デンメニューを登録する」の操作4以降と同じです。☛P25

直デンメニューを解除する

1 CLRで直デンメニューを表示

2 登録済みのキーをタッチ

3 ［解除］

4 ［解除する］をタッチする

直デンメニューを使って電話／メールする

1 CLRで直デンメニューを表示

2 登録済みのキーをタッチ

3 ［音声発信］または［テレビ電話発信］をタッチする

- 音声電話の場合は、［**音声発信**］の代わりに を押しても操作できます。
- 10キーモードで複数の電話番号が登録されている相手の場合は、電話番号を選択します。

■ **メールを送信する：［メール作成］**

- 以降の操作は「iモードメールを作成して送信する」の操作3以降と同じです。☛P31

おしらせ

● 待受メニューで［**電話**］を2秒以上タッチすると、直デンメニューの1つめ（最上段左側）に登録されている相手の1件めの電話番号に音声電話をかけることができます。

カメラ（6 キーモード）

10キーモード編P152

静止画を撮影する

静止画撮影

1 [ツール]▶[カメラ]▶[写真を撮る]

カメラが起動します。

2 被写体にカメラを向けて[撮影する]

- [**倍率大**]または[**倍率小**]をタッチすると表示倍率が変えられます。タッチし続けると連続して表示倍率が変わります。画像サイズが1.3M(1024×1280)のときや、インカメラでは倍率を変更できません。
- カメラを切り替える：[**インカメラへ切替**]または[**アウトカメラへ切替**]

3 [保存する]をタッチする

- 保存しない：[**撮り直す**]

■ **メールに添付して送信する：[メール作成]**

写真が添付されているメール作成画面が表示されます。

- 画像サイズやファイルサイズによっては待受サイズ(240×320)に自動的に変換されて保存されることがあります。確認画面が表示されたら[**OK**]をタッチします。
- 以降の操作は「ｉモードメールを作成して送信する」の操作2以降と同じです。☛P31

■ **待受画面に設定する：[待受画面設定]▶[設定する]**

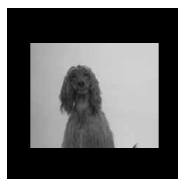
画像サイズを変更して撮影する

アウトカメラでは6種類、インカメラでは4種類の画像サイズが選択できます。

1 [ツール]▶[カメラ]▶[写真を撮る]

2 [サイズ変更]▶画像サイズを選択

タッチパネル

3 被写体にカメラを向ける▶[撮影する]をタッチする

- 以降の操作は通常の撮影時と同じです。

静止画を見る

1 [ツール]▶[カメラ]▶[写真を見る]

2 写真をタッチする

写真が表示されます。

- [**前のページ**]または[**次のページ**]をタッチして一覧を切り替えられます。

■ **静止画にイラストを描く：写真をタッチ▶[ペイント編集]**

- 以降の操作は「イラストを描く」の操作3以降と同じです。☛P39

■ **メールに添付して送信する：写真をタッチ▶[メール作成]**

- 操作方法は「静止画を撮影する」の操作3と同じです。ただし画像サイズが480×640のときは240×320に自動的に変換されて保存されます。

■ **削除する：写真をタッチ▶[削除]▶[削除する]**

■ **待受画面に設定する：写真をタッチ▶[待受画面設定]▶[設定する]**

ｉモード/ｉチャネル/メール/ｉアプリ(6キーモード)

10キーモード編P162、182

ｉモード／ｉチャネルを利用する

iモードを利用する

1 ［ｉモード］▶［ｉMENU］

・以降の操作は10キーモードの場合と同じです。☛『10キーモード編』P162

ｉチャネルを利用する

1 ［ｉモード］(2秒以上)

チャネル一覧が表示されます。

2 チャネルを選択

サイトに接続され、詳細情報が表示されます。

■ **ｉチャネルの設定を変更する：［ｉモード］▶［ｉチャネル］▶［2］**

・以降の操作は10キーモードの「ｉチャネルの設定を変更する」の操作2以降と同じです。☛『10キーモード編』P182

おしらせ

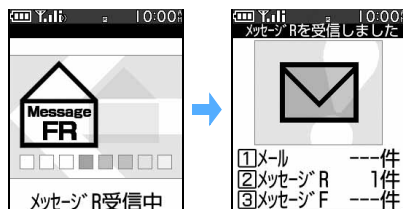
● ｉモードメニューの以下の機能は10キーモードの場合と同様に操作できます。

・Internet☛『10キーモード編』P163、P166
・Bookmark☛『10キーモード編』P167
・画面メモ☛『10キーモード編』P169

10キーモード編P174

メッセージR/Fを受信したときは

メッセージR/F受信

1 メッセージR/Fを受信

2 受信結果画面で［メッセージR］または［メッセージF］

・後で表示する：［**後で見る**］

10キーモード編P175

保存されているメッセージR/Fを表示する

メッセージR/メッセージF

例 メッセージRを表示するとき

1 ［ｉモード］▶［メッセージ］▶［メッセージR］

■ **メッセージFを表示する：［ｉモード］▶［メッセージ］▶［メッセージF］**

2 メッセージRを選択

メッセージ設定について

［ｉモード］→［メッセージ］→［メッセージ設定］をタッチすると表示されるメニューから以下の設定が行えます。各操作については『10キーモード編』をご覧ください。

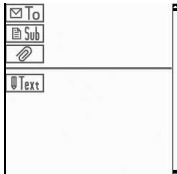
メッセージ設定	10キーモード編参照先
1 メッセージ自動表示	P175
2 ｉモード問合せ設定	P207
3 添付ファイル自動再生設定	P209
4 メッセージ着信設定	P175

10キーモード編P187

ｉモードメールを作成して送信する

ｉモードメール作成･添付･送信

ｉモードメールに画像を添付して送信できます。

1 ［メール］▶［新規メール］

メール作成画面

2 ［宛先］▶宛先を入力

- 直接入力する：［宛先］▶［直接入力］▶宛先を入力
- 電話帳から入力する：［宛先］▶［電話帳参照］▶電話帳を検索▶相手を選択▶［選択］
  - 電話帳に複数のメールアドレスを登録している相手を選択したときは［選択］をタッチした後、メールアドレスを選択し［選択する］をタッチします。
  - 電話帳の検索方法について ☛P24

■ 宛先を追加する：
①［宛先］▶［宛先追加］
宛先欄が追加されます。
②宛先を入力

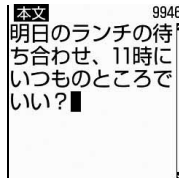
■ 宛先を削除する：
①［宛先］▶［宛先削除］
- 宛先が複数あるときは、削除する宛先を選択します。

②［削除する］

■ 宛先種別を変更する：
①［宛先］▶［種別変更］
- 宛先が複数あるときは、変更する宛先を選択します。

②［TO］［CC］［BCC］のいずれかを選択

3 ［題名］▶題名を入力

4 ［本文］▶本文を入力

5 ［添付］▶フォルダを選択▶画像を選択▶［選択］

- 添付ファイルを解除する：［添付］▶［解除］▶［解除する］

6 ［確認／送信］▶［送信］をタッチする

- 編集する：［確認／送信］▶［編集］

ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する

1 メール作成画面で［保存］▶［保存する］をタッチする

ｉモードメールが未送信メールに保存されます。

圏内になったら ｉ モードメールを自動送信する

1 メール作成画面で［保存］▶［圏内自動送信］をタッチする

圏内自動送信メールとして未送信メールに保存されます。圏内になると自動的に送信されます。自動送信に失敗すると、未送信メールに残り が点滅します。失敗したメールの編集・送信などにより失敗したメールがなくなると は消えます。

圏内に移動したとき自動送信するように設定しました。自動送信を開始するにはメール機能を終了してください

おしらせ

● 圏内自動送信メールをすでに5件保存しているときは、通常の未送信メールとして保存されます。

送信･保存した ｉ モードメールを編集･送信する

例 未送信メールを編集するとき

1 ［メール］▶［未送信メール］▶ フォルダを選択

- 送信メールを編集する：［**メール**］▶［**送信メール**］▶ フォルダを選択
- ［**前のページ**］または［**次のページ**］をタッチして一覧を切り替えられます。

2 メールを選択 ▶［編集］

3 メールを編集して送信する

10キーモード編P192

ｉ モードメールを受信したときは

メール自動受信

1 ｉ モードメールを受信

2 受信結果画面で［メール］

- 後で表示する：［**後で見る**］
  着ガイドが表示されます。
  - 着ガイドについては☛P23

3 フォルダを選択 ▶ メールを選択

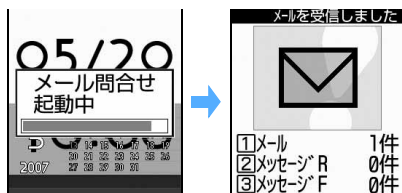
①10:00 本日の会議
②09:40 RE：おめでと…
③09:30 定例会議の件
④09:29 定例会議の件

- ［前のページ］または［次のページ］をタッチして一覧を切り替えられます。

10キーモード編P194

ｉ モードメールがあるかどうかを問い合わせる

ｉ モード問合せ

1 ［メール］を2秒以上タッチする

- ［**メール**］▶［**ｉ モード問合せ**］をタッチしても問い合わせできます。

10キーモード編P194

ｉモードメールに返信する

ｉモードメール返信

・SMSの場合は返信できません。

1 [メール]▶[受信メール]▶フォルダを選択

①✉10:00 本日の会議
②✉09:40 RE: おめでと…
③✉09:30 定例会議の件
④09:29 定例会議の件

・[前のページ]または[次のページ]をタッチして一覧を切り替えられます。

2 メールを選択▶[返信]

・複数の宛先に送られた受信メールを選択したときは[**返信**]をタッチした後、[**全員に返信**]または[**送信者に返信**]をタッチします。

3 メールを編集して送信する

10キーモード編P195

ｉモードメールを他の宛先に転送する

ｉモードメール転送

・SMSの場合は転送できません。

1 [メール]▶[受信メール]▶フォルダを選択

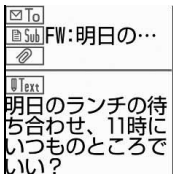
①✉10:00 本日の会議
②✉09:40 RE: おめでと…
③✉09:30 定例会議の件
④09:29 定例会議の件

・[前のページ]または[次のページ]をタッチして一覧を切り替えられます。

2 メールを選択▶[MENU]▶[転送]

To
Sub FW:明日の…
Text
明日のランチの待ち合わせ、11時にいつものところでいい？

3 メールを編集して送信する

10キーモード編P195、196、197

ｉモードメールから添付ファイルを表示・保存する

添付ファイル表示・保存

メールに添付された画像を表示・保存したり、メロディを再生・保存できます。またｉモーションメールからｉモーションを再生・保存できます。

例 画像を保存するとき

1 [メール]▶[受信メール]▶フォルダを選択▶メールを選択

添付ファイルが10000バイト以下の画像または10000バイトを超える画像で自動保存できるときはメール本文中に画像が表示されます。添付ファイルが10000バイトを超える画像で受信を中断したり、受信中に圏外になるなどの理由により自動保存できないときはメール本文中に保存期限が表示されます。

自動保存できるとき

07/05/20 11:29
From docomotaro@△…
見て見て
見て見てかわいいでしょ
photo 14.2KB

自動保存できないとき

07/05/20 11:29
From docomotaro@△…
見て見て
見て見てかわいいでしょ
画像あり
保存期限:07/05/30
－ END －

2 ファイル名を選ぶ▶[MENU]▶[選択]▶[保存]▶保存先を選択

・自動保存できない添付ファイルを取得する：本文中の「保存期限」を選ぶ▶[**MENU**]▶[**選択**]▶[**データ取得**]

■ ｉモーションメールを再生する：URLを選ぶ▶[MENU]▶選択▶[接続する]

添付ファイルの操作

添付ファイルが10000バイト以下の画像または10000バイトを超える画像で自動保存できるとき、メール本文中に画像が表示されます。

1 [メール]▶[受信メール]▶フォルダを選択▶メールを選択

2 ファイル名を選ぶ▶[MENU]▶[選択]

3 以下の操作を選択

- 画像を表示する：[表示]
- 画像の表示を消す：[非表示]
- メロディを再生する：[メロディ]
- タイトルを確認する：[タイトル確認]
- 添付ファイルを削除する：[削除]▶[削除する]
  - 10000バイトを超える画像は、10キーモードに切り替えてマイピクチャの「iモード」から削除してください。

10キーモード編P198

受信／送信メール BOX のメールを表示する　受信メールBOX／送信メールBOX

例 受信メールを表示するとき

1 [メール]▶[受信メール]

- 送信メールを表示する：[メール]▶[送信メール]
- 未送信メールを表示する：[メール]▶[未送信メール]

①受信BOX
②家族
③友達1
④友達2

10キーモードでフォルダ作成している場合に表示されます。

2 フォルダを選択

①10:00 本日の会議
②09:40 RE: おめでと…
③09:30 定例会議の件
④09:29 定例会議の件

- [前のページ]または[次のページ]をタッチして一覧を切り替えられます。

3 メールを選択

07/05/20 10:00
From docomotaro@∆…
本日の会議
本日の会議は本社第三会議室で行います。
重要案件がありますので遅れずにご参加ください。

- [前のメール]または[次のメール]をタッチしてメールを選べます。

受信メールフォルダ一覧画面の見かた

①受信BOX
②家族
③友達1
④友達2

：メールなし
：未読メールなし
：メールなし／未読メールなし（プライバシーON）
：メールなし／未読メールなし（メール連動型iアプリで利用）
：未読メールあり
：未読メールあり（プライバシーON）
：未読メールあり（メール連動型iアプリで利用）

送信／未送信メールフォルダ一覧画面の見かた

①送信BOX
②家族
③友達 1
④友達 2

：メールなし
：メールあり
：プライバシーON
：メール連動型iアプリ

メールアドレスを確認する　アドレス表示

メールアドレスが途中までしか表示されていない場合や、電話帳に登録されている場合は、この方法でメールアドレスが確認できます。

1 メールを表示▶[下へ]または[上へ]で送信元を選ぶ

07/05/20 10:00
From docomotaro@∆…
本日の会議
本日の会議は本社第三会議室で行います。
重要案件がありますので遅れずにご参加ください。

2 ［MENU］▶［選択］をタッチする

10キーモード編P202

受信／送信メールを削除／保護する

メール保護

例 メールを保護するとき

1 メールを表示

2 ［MENU］▶［保護］をタッチする

■ 解除する：［MENU］▶［保護解除］

■ 削除する：［MENU］▶［削除］▶［削除する］

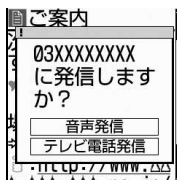
10キーモード編P203

メールの便利な機能

本文に電話番号やメールアドレス、URLがあるとき、これらを選択して音声電話／テレビ電話の発信、ｉ モードメール作成、サイト接続ができます。また、電話番号やメールアドレスをFOMA端末電話帳に登録できます。

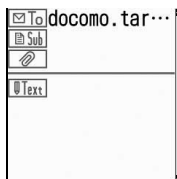
音声電話／テレビ電話をかける　電話発信

1 メールを表示▶［下へ］または［上へ］で電話番号を選ぶ

2 ［MENU］▶［選択］

3 ［音声発信］または［テレビ電話発信］をタッチする

ｉ モードメールを作成する

1 メールを表示▶［下へ］または［上へ］でメールアドレスを選ぶ

2 ［MENU］▶［選択］

3 メールを作成する

サイトに接続する

1 メールを表示▶［下へ］または［上へ］でURLを選ぶ

2 ［MENU］▶［選択］

3 ［接続する］をタッチする

電話番号やメールアドレスをFOMA端末電話帳に登録する

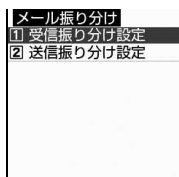
1 メールを表示▶［下へ］または［上へ］で電話番号を選ぶ

2 ［MENU］▶［電話帳登録］

3 電話帳に登録する

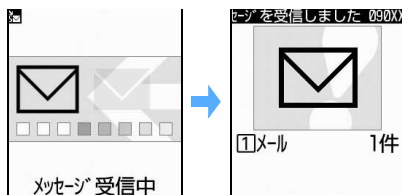
メールを自動的に振り分ける

受信／送信したｉモードメールやSMSを自動的にフォルダに振り分けることができます。

1 ［メール］▶［振り分け設定］

- 以降の操作は10キーモードの場合と同じです。☛『10キーモード編』P205

10キーモード編P215

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは　SMS受信

1 SMSを受信

2 ［メール］▶フォルダを選択▶SMSを選択

- 後で表示する：［後で見る］

10キーモード編P222

ｉアプリを起動する

1 ［ｉアプリ］（2秒以上）

- ［ｉアプリ］▶［1］をタッチしても同様に操作できます。

2 フォルダを選択

ソフト一覧画面が表示されます。

3 ｉアプリを選択する

ｉアプリを終了するには

ｉアプリごとに設定されている方法で終了してください。

- ☎を押し、「はい」を選択しても終了できます。

おしらせ

- 6キーモードや10キーモードでワンタッチｉアプリやツータッチｉアプリを登録しても、ワンタッチやツータッチでｉアプリを起動できません。

その他の便利な機能(6キーモード)

10キーモード編P270

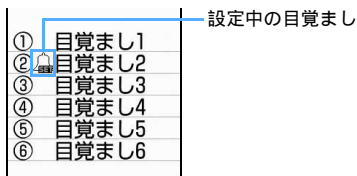
指定した時刻に目覚まし音を鳴らす

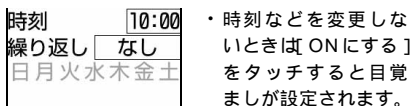
目覚まし

目覚まし音を鳴らす時刻を設定する

1 ［ツール］▶［目覚まし］

設定中の目覚まし

①　目覚まし1
②　目覚まし2
③　目覚まし3
④　目覚まし4
⑤　目覚まし5
⑥　目覚まし6

2 ［①］〜［⑥］▶［編集する］

3 ［時刻］▶時刻を入力

- 時刻などを変更しないときは［ONにする］をタッチすると目覚ましが設定されます。

4 ［繰り返し］

- 毎日繰り返す：［**毎日**］
- 曜日を指定する：［**曜日指定**］▶曜日を選択▶［**決定**］
- 1回だけ起動する：［**1回のみ**］

5 ［設定する］をタッチする

待受画面に🔔が表示されます。

■ **目覚ましを解除する：操作2で設定中の目覚ましを選択▶［OFFにする］**

設定時刻になると

1 目覚まし音が鳴る

2 ［OK］をタッチする

目覚まし音が止まります。

- ☎、CLR、☎、📷を押しても止まります。

10キーモード編P272

スケジュールを利用する

スケジュール帳

スケジュールを登録する

1 ［ツール］▶［スケジュール］

カレンダー画面が表示されます。

2 スケジュールを登録する日付を選ぶ▶［新規］

3 各項目を選択して設定

- 以降の操作は10キーモードの「スケジュールを登録する」の操作3以降と同じです。
☛『10キーモード編』P273

■ **スケジュールを編集する：**

① 日付を選択▶スケジュールを選択▶［編集］

② スケジュールの内容を変更▶［登録］▶［はい］を選択

■ **スケジュールを1件削除する：**

① 日付を選択▶スケジュールを選択

② ［MENU］［3］▶「はい」を選択

- その他の削除操作については☛『10キーモード編』P277

設定日時になると

1 アラームが鳴る

スケジュールの内容が表示されます。

2 [OK]

アラームが止まります。

- ㉂、CLR、㉄、📷を押しても止まります。
- スケジュールの内容がすべて表示されていない場合には[上へ]または[下へ]でスクロールします。

3 [閉じる]をタッチする

おしらせ

● カレンダー表示／表示形式設定、休日／祝日設定、スケジュールアラーム初期値設定、スケジュール詳細確認、スケジュール削除、メンバーリスト利用、スケジュール登録件数確認は、10 キーモードの場合と同様に操作できます。☛『10 キーモード編』P272、P273、P275、P277、P278

10キーモード編P286

ペイントを利用する

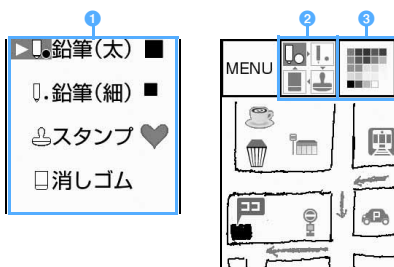
ペイント

タッチパネルに手書きでイラストを描くことができます。

イラストを描く

1 [ツール]▶[ペイント]

2 [イラストを描く]

3 スタイラスペンまたは指でタッチパネルにイラストを描く

メインディスプレイ　　タッチパネル

❶ **ツール**
使用中のツールには、左側のアイコンの背景に色がつきます。右側には、現在の線の色やスタンプが表示されます。

❷ **(ツール切替キー)**
ツールを切り替えるときにタッチします。

❸ **／(パレットキー／スタンプキー)**
線の色を変えるときやスタンプを選ぶときにタッチします。

■ **線を描く：[ ]をタッチして「鉛筆(太)」または「鉛筆(細)」を選択▶タッチパネルをなぞる**
- 線の色を変更する：鉛筆ツール使用中に[ ]▶色を選択

■ **スタンプを貼り付ける：[ ]をタッチして「スタンプ」を選択▶ をタッチ▶スタンプを選択▶タッチパネルをタッチ**

■ **イラストの一部を消去する：[ ]をタッチして「消しゴム」を選択▶タッチパネルをなぞる**

■ **イラストをすべて消去する：CLR(1秒以上)**

4 [MENU]▶[保存]▶[保存する]をタッチする

イラストが保存されます。

■ **メールに添付して送信する：[MENU]▶[メール作成]**
イラストが添付されているメール作成画面が表示されます。
- 以降の操作は「i モードメールを作成して送信する」の操作2以降と同じです。☛P31

イラストや静止画を編集して活用する

1 [ツール]▶[ペイント]

2 [イラストを選ぶ]または[写真を選ぶ]

3 イラストまたは静止画を選択

タッチパネルにイラストまたは静止画が表示されます。

- [前のページ]または[次のページ]をタッチして一覧を切り替えられます。

■ **編集する：[ペイント編集]**
- 以降の操作は「イラストを描く」の操作3以降と同じです。
- 「消しゴム」でタッチパネルをなぞると、選択したイラストまたは静止画の部分も消去されます。
- 編集したイラストや静止画は、別のイラストとして保存されます。

■ **メールに添付して送信する：[メール作成]**
編集したイラストや静止画が添付されているメール作成画面が表示されます。
- 以降の操作は「i モードメールを作成して送信する」の操作2以降と同じです。☛P31

■ **削除する：[削除]▶[削除する]**

■ **待受画面に設定する：[待受画面設定]▶[設定する]**

10キーモード編P284

電卓として使う

電卓

1 ［ツール］▶［電卓］

2 ［0］～［9］、［＋］、［－］、［×］、［÷］、［＝］を使って計算

・入力した数字を1桁削除する：CLR
・小数点を入力する：文字

3 ［＝］をタッチする

計算結果が表示されます。
・CLRを押すと計算結果が削除されます。

メニューパッケージを設定する

メニューパッケージ設定

タッチパネルに表示するメニュー（待受メニュー／直デンメニュー）の組み合わせを3種類から選びます。

①
②
③ 待受メニュー（15機能）　直デンメニュー

着信履歴　電話帳　リダイヤル　伝言メモ　番号入力　自局番号　メール　問合せ　アプリ　モード　Bookmark　画面メモ　カメラ　ツール　設定　CLR　未登録　未登録　未登録　未登録　未登録　未登録

1 ［設定］▶［9］［2］

2 ［次のパッケージ］をタッチして設定するメニューパッケージを表示

3 ［設定する］をタッチする

10キーモード編P126

テーマカスタマイズを設定する

テーマカスタマイズ設定

メインディスプレイに表示する待受画面、電池マーク、時計表示やタッチパネルのキーのデザインを変更できます。

1 ［設定］▶［2］［8］

2 ［1］～［6］のいずれかをタッチする

10キーモード編P280

自分の電話番号を確認する

自局番号

・自分の名前やメールアドレスなどの登録は10キーモードで行います。

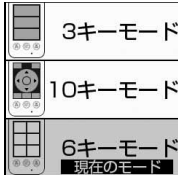
1 ［電話］▶［自局番号］をタッチする

携帯花子
090XXXXXXXX
docomotaro@△△.□□□.co.jp

10キーモード編P46

3キーモード／10キーモードへ切り替える　モード選択

例　10キーモードへ切り替えるとき

1 ［設定］▶［9］［1］▶端末暗証番号を入力

・端末暗証番号については☛『10キーモード編』P132、P133

2 ［10キーモードに切り替え］▶［OK］をタッチする

再起動され、10キーモードに切り替わります。

・3キーモードに切り替える：
［3キーモードに切り替え］▶メニューパッケージを設定☛P67

その他の設定について

待受メニューで［設定］をタッチすると表示される設定メニューから以下の設定も行えます。各操作については『10キーモード編』をご覧ください。

・6キーモードで設定できない項目は文字が薄く表示され選択できません。

設定メニュー	10キーモード編参照先
1 音／バイブ	
1 音の設定	
1 電話着信音	
1 電話着信音	P108
2 テレビ電話着信音	
3 発番号なし動作設定	P144
2 メール・メッセージ着信音	
1 メール着信音	P108
2 チャットメール着信音	
3 メッセージR着信音	
4 メッセージF着信音	
3 アラーム音	
1 目覚まし音	P110
2 スケジュール音	
4 操作確認音	
1 キー確認音	P110
5 充電確認音	P113

設定メニュー	10キーモード編参照先
1 音／バイブ	
1 音の設定	
6 通話保留・警告音	
1 応答保留ガイダンス設定	P72
2 通話保留音	P73
3 通話品質アラーム音	P113
4 再接続アラーム音	P64
5 電池アラーム音	P43
2 音量設定	
1 電話着信音量	P70
2 メール・メッセージ着信音量	
3 受話音量	
4 アラーム音量	
1 目覚まし音量	
2 スケジュール音量	
5 iアプリ音量	
3 バイブレータ設定	
1 電話着信時	
1 電話着信時	P112
2 テレビ電話着信時	
2 メール・メッセージ着信時	
1 メール着信時	P112
2 チャットメール着信時	
3 メッセージR着信時	
4 メッセージF着信時	
3 アラーム鳴動時	
1 目覚まし鳴動時	P112
2 スケジュール鳴動時	
4 iアプリ利用時	
4 マナーモード選択	P114
5 呼出動作開始時間設定	P145
2 ディスプレイ	
1 待受画面設定	
1 待受画面選択	
1 イメージ設定	P115
2 ランダムイメージ設定	P117
2 時計表示設定	P129
3 電池マーク設定	P125
5 テロップ表示設定	P182
3 各種画面設定	
1 発着信画面表示設定	
1 電話発信設定	P120
2 電話着信設定	P121
3 テレビ電話発信設定	P120
4 テレビ電話着信設定	P121
5 人物画像表示設定	P122
6 発番号なし動作設定	P144
7 メール送信画像設定	P122
8 メール受信画像設定	
9 問合せ画像設定	

設定メニュー	10キーモード編参照先
2 ディスプレイ	
3 各種画面設定	
2 着信表示設定	P122
3 テレビ電話画像選択	
1 代替画像	P84
2 伝言メモ画像	
3 応答保留画像	
4 通話中保留画像	
4 照明設定	
1 点灯時間設定	
1 通常時	P123
2 ACアダプタ接続時	
3 ｉモード中	
4 カメラ撮影中	
7 ｉアプリ	
2 照明設定範囲	
3 明るさ調整	
5 イルミネーション設定	
1 着信	P126
2 通話中	
3 アラーム／その他	
6 不在着信お知らせ	P127
8 テーマカスタマイズ設定	P126
3 セキュリティ／ロック	
3 ダイヤル発信制限	P139
5 暗証番号変更	P133
7 スキャン機能	
1 パターンデータ更新	P353
2 自動更新設定	
3 スキャン機能設定	
4 バージョン表示	P355
4 情報表示／リセット	
3 電池レベル表示	P43
4 通話料金	
2 通話料金上限通知	P283
3 上限通知アイコン消去	P284
4 通話料金自動リセット設定	P283
5 時計	
1 日付時刻設定	P46
2 自動電源ON 設定	P269
3 自動電源OFF 設定	
4 時計表示設定	P129
5 アラーム自動電源ON 設定	P271
6 発着信・通話機能	
1 電話発信設定	P120
2 電話着信設定	P70
3 発番号なし動作設定	P144
4 エニーキーアンサー設定	P68

設定メニュー	10キーモード編参照先
6 発着信・通話機能	
5 イヤホン機能設定	
1 イヤホン切替設定	P288
2 オート着信機能設定	
3 イヤホンスイッチ設定	P287
6 メモリ着信拒否／許可	
1 メモリ別着信拒否／許可	P144
2 メモリ登録外着信拒否	P146
7 発着信詳細設定	
2 プレフィックス設定	P63
3 国際ダイヤル設定	
1 自動付加設定	P62
2 国際電話設定	
4 サブアドレス設定	P63
5 着信中オープン応答	P68
8 通話詳細設定	
1 ノイズキャンセラ設定	P64
9 セルフモード設定	P138
7 テレビ電話	
1 テレビ電話発信設定	P120
2 テレビ電話着信設定	P70
5 テレビ電話画像選択	P84
1 代替画像	
2 伝言メモ画像	
3 応答保留画像	
4 通話中保留画像	
6 テレビ電話使用機器設定	P86
8 文字入力／その他	
1 単語／定型文登録	
1 単語登録	P313
2 定型文登録	P311
2 ダウンロード辞書	P314
3 変換学習リセット	P307
4 入力設定	P304
5 NW検索方法	P288
6 ソフトウェア更新	P350
9 タッチパネル／モード	
1 モード選択	P40※1
2 メニューパッケージ設定	
4 タッチパネルキーレイアウト設定	P130

• モード間での設定引き継ぎについては『10キーモード編』P322をご覧ください。

※1：『6キーモード／3キーモード編』の参照先です。

3 キーモードの概要

3キーモードについて

タッチパネルに表示されるキーの数が基本的に3つで構成されるモードを3キーモードと呼びます。3キーモードに設定すると、スキャンモードを利用できます。☛P68

- 3 キーモードでは i チャネルの操作はできませんが、テロップ表示には対応しています。ご契約後テロップが表示されない場合は、6 キーモードか 10 キーモードでチャネル一覧を表示してテロップを表示してください。☛P30、『10キーモード編』P182

3キーモードへの切り替え方法

6キーモードまたは10キーモードから切り替えます。

- 6キーモードからの切り替え ☛P41
- 10キーモードからの切り替え ☛『10キーモード編』P46

待受メニューからの操作

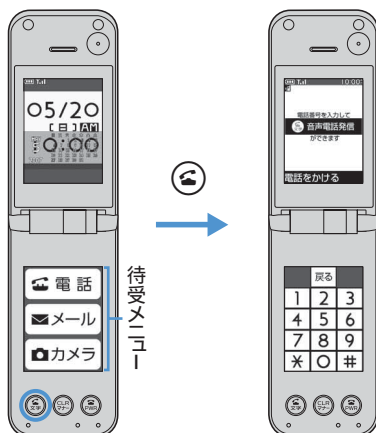
電源を入れたときや 3 キーモードに切り替えたとき、メインディスプレイには待受画面、タッチパネルにはメニュー(待受メニュー／直デンメニュー)が表示されます。

待受メニューからのキー操作

待受メニューで、CLR、を押すと、以下の操作が行えます。

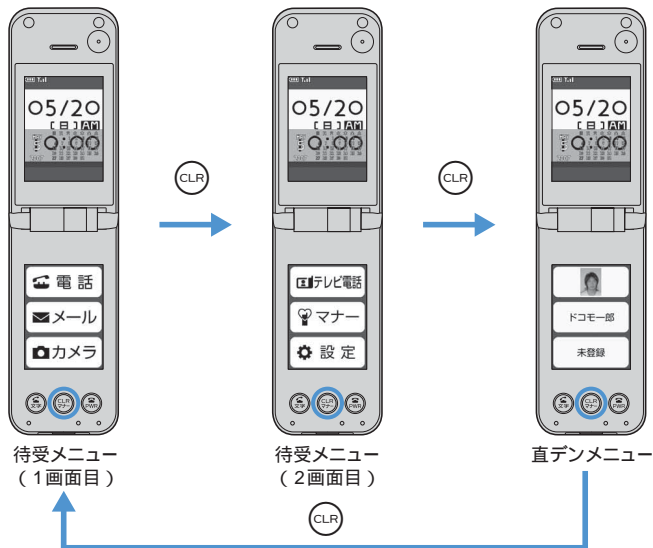
を押す

電話番号入力画面が表示されます。

- 電話／テレビ電話をかけるには☛P48

CLRを押す

タッチパネルに表示されるメニュー(待受メニュー／直デンメニュー)を切り替えます。

- メニューの組み合わせは4種類から選択できます。☛P67
- 直デンメニューに電話帳データを登録すると簡単に電話をかけられます。☛P55
- CLRを1秒以上押すとマナーモードを設定／解除できます。☛P50

☎を押す

待受画面のカレンダーの表示／非表示が切り替わります。メニューパッケージ設定で設定した組み合わせの1画面目でのみ有効です。

- タッチパネルにメニューパッケージ設定で設定した組み合わせの2画面目や3画面目が表示されているときに☎を押すと、1画面目に切り替わります。メニューパッケージ設定については☛P67

待受メニューからのタッチ操作

待受メニューのキーをタッチすると各機能のメニュー画面が表示されます。各メニュー画面からはさらに、さまざまな操作が行えます。

待受メニューからの 2 秒以上のタッチ操作

待受メニューのキーを 2 秒以上タッチすると、以下の操作が行えます。タッチしてから各機能が起動されるまでの間、経過を示すバーが表示されます。

- 2秒より短い場合、通常のタッチ操作と同じ画面が表示されます。

[電話](2 秒以上):
直デンメニューの 1 つめ(最上段)に登録されている相手の 1 件目の電話番号に音声電話をかけます。

[メール](2 秒以上):
i モード問合せを行います。

[カメラ](2 秒以上):
カメラを起動します。

電話／テレビ電話／電話帳(3キーモード)

10キーモード編P51

電話／テレビ電話をかける

例 音声電話をかけるとき

1 ［電話］▶［番号入力］が表示されるまで［次の項目］をタッチ

2 ［番号入力］

3 電話番号を入力

・電話番号を訂正する：［**クリア**］またはCLR

4 ［発信］または発信キー

「プップップッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。

音声電話のとき

通話中

・テレビ電話をかける：［テレビ電話］

テレビ電話のとき

接続中

通話中

5 通話が終わったら［切る］または終話キーを押す

・通話中にFOMA端末を閉じると、通話が終了します。

おしらせ

●以下の手順でも音声電話またはテレビ電話がかけられます。
・待受画面でCLR▶［**テレビ電話**］▶［**番号入力**］が表示されるまで［**次の項目**］をタッチ▶［**番号入力**］▶電話番号を入力 ▶［発信］（音声電話の場合）または［テレビ電話］／発信キー（テレビ電話の場合）
・待受画面で発信キー▶電話番号を入力▶［発信］または［テレビ電話］

●FOMA端末をハンズフリー対応機器と接続して、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

●サブアドレスを指定して電話をかけられます。☛『10キーモード編』P63

●パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。☛『10キーモード編』P86

●以下は6キーモードの場合と同様に操作できます。
・プッシュ信号（DTMF）を送出する☛P18
・ポーズ、タイマーを入力する☛P19
・1回の通話ごとに電話番号を通知／非通知にする☛P19
・国際電話を利用する☛P19
（ただし、スキャンモード利用時には「＋」を利用した国際電話はかけられません。）

スピーカーホン機能を利用する

・テレビ電話の場合は自動的にスピーカーホン機能がONになります。

例 音声電話をかけるとき

1 ［電話］▶［番号入力］が表示されるまで［次の項目］をタッチ▶［番号入力］▶電話番号を入力

2 ［発信］または発信キーを1秒以上押す

・通話中に受話音量を調整できます。☛P50

■ **通話中にスピーカーホンに切り替える：**
［**ダイヤル**］▶［**スピーカー OFF ON**］
・発信キーを押しても切り替えられます。
・発信中は発信キーを押すたびにスピーカーホン機能のON/OFFを切り替えられます。呼出中は発信キーまたは［**ダイヤル**］をタッチし、［**スピーカー OFF ON**］をタッチするたびに切り替えられます。

リダイヤル／着信履歴を利用する
リダイヤル／着信履歴

例 リダイヤルから音声電話をかけるとき

1 ［電話］▶［リダイヤル］が表示されるまで［次の項目］をタッチ

2 ［リダイヤル］

・［前のリダイヤル］または［次のリダイヤル］をタッチして相手を選べます。

3 ［電話をかける］または(発信キー)を押す

・［電話をかける］を1秒以上タッチすると、スピーカーホン機能がONになります。

おしらせ

●リダイヤルまたは着信履歴からテレビ電話をかけるときは以下の手順で行います。

・待受画面でCLR▶［テレビ電話］▶［リダイヤル］または［着信履歴］が表示されるまで［次の項目］をタッチ▶［リダイヤル］または［着信履歴］▶［テレビ電話をかける］または(発信キー)

10キーモード編P65

電話／テレビ電話を受ける

1 電話がかかってくる

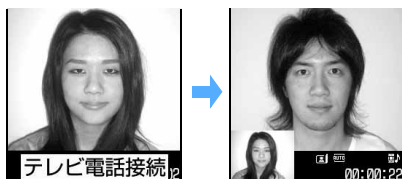
・着信中に(カメラキー)を押して着信音とバイブレータの動作を止めることができます。

2 ［出る］

音声電話のとき

通話中

・(発信キー)を押しても受けられます。

テレビ電話のとき

接続中　通話中

3 通話が終わったら［切る］をタッチする

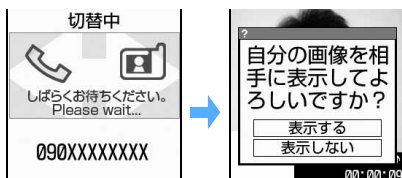
・(終話キー)を押しても操作できます。

10キーモード編P67

音声電話／テレビ電話を切り替えて電話を受ける

・切替要求を受けるには、10 キーモードでテレビ電話切替通知を開始しておく必要があります。

例 音声電話からテレビ電話へ切り替えて電話を受けるとき

1 音声電話通話中にテレビ電話への切替要求を受ける

2 ［表示する］をタッチする

テレビ電話に切り替わり、相手に自画像が送信されます。

・代替画像を送信する：［表示しない］またはCLR

・標準画像(カメラオフ画像)が送信されます。

■ テレビ電話から音声電話に切り替えて電話を受ける

テレビ電話通話中に音声電話への切替要求を受けると自動的に音声電話へ切り替わります。

10キーモード編P69

通話中に相手の声の音量を調整する

受話音量

1 通話中に[受話音量]

2 [上げる]または[下げる]で音量調整

10キーモード編P72

すぐに電話に出られないときに保留にする

応答保留

1 着信中に[応答保留]

音声電話応答保留中

テレビ電話応答保留中

- ☎を押しても保留にできます。
- 応答保留中に[切る]または☎を押すか、相手が電話を切ると、電話が切れます。

2 電話に出られる状態になったら[出る]をタッチする

- ☎を押しても電話に出られます。

10キーモード編P113、73、138

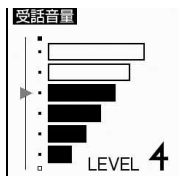
マナーモード／公共モード／セルフモードを利用する

電話から鳴る音を消す

マナーモード

1 CLRを1秒以上押す

マナーモードが設定され、待受画面に が表示されます。

■ 解除する：CLR(1秒以上)

おしらせ

●以下の方法でも操作できます。
- CLR▶[マナー]▶[設定する]／[解除する]
- 📷(1秒以上)▶[設定する]／[解除する]

公共モード(ドライブモード)を設定する

1 CLR▶[マナー]▶公共モード設定画面が表示されるまで[次の項目]をタッチ

着信時に履歴が残り、音は鳴りません
相手には出られない旨をガイダンスで伝えます
現在の設定
公共モードOFF

- CLR▶[マナー]の代わりに📷を1秒以上押しても操作できます。

2 [設定する]をタッチする

公共モード(ドライブモード)が設定され、待受画面に が表示されます。

■ 解除する：[解除する]▶[解除する]

公共モード(電源OFF)を設定する

1 [電話]▶[番号入力]が表示されるまで[次の項目]をタッチ

2 [番号入力]

3 [＊][2][5][2][5][1]▶[ ]をタッチする

公共モード(電源OFF)が設定されます。続けて電源を切ると、公共モード(電源OFF)が動作します。

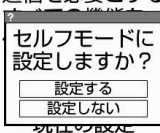
■ 解除する：
[＊][2][5][2][5][0]▶[ ]

■ 設定を確認する：
[＊][2][5][2][5][9]▶[ ]

セルフモードを設定する

1 **CLR▶[マナー]▶セルフモード設定画面が表示されるまで[次の項目]をタッチ**

・CLR▶[マナー]の代わりに📷を1秒以上押しても操作できます。

2 **[設定する]**

通信を必要とする
セルフモードに
設定しますか?
設定する
設定しない
セルフモードOFF

3 **[設定する]をタッチする**

セルフモードが設定され、待受画面にselfが表示されます。

■ **解除する：[解除する]▶[解除する]**

10キーモード編P75

電話に出られないときに用件を録音/録画する　伝言メモ

伝言メモで応答する

電話に出られないときに相手の用件を録音/録画できます。

・10キーモードで伝言メモを設定している場合は、設定に従って動作します。

1 **電話がかかってくる**

2 **[伝言メモ]**

相手のメッセージが録音または録画されます。

音声電話伝言メモ録音中　テレビ電話伝言メモ録音中

・📷を1秒以上押しても伝言メモで応答できます。

3 **録音または録画が終了すると、電話が切れる**

着ガイドが表示されます。

・着ガイドについては☛P52

おしらせ

●応答ガイダンス中、伝言メモ録音/録画中でも電話に出られます。[出る]または📞を押します。電話に出た場合、それまで録音/録画された内容は記録されません。

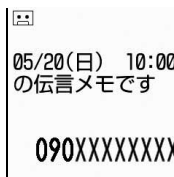
伝言メモを再生する

1 **[電話]▶[伝言メモ]が表示されるまで[次の項目]をタッチ**

・CLR▶[テレビ電話]▶[伝言メモ]が表示されるまで[次の項目]をタッチしても表示できます。

2 **[伝言メモ]▶[確認]**

05/20(日) 10:00
の伝言メモです
090XXXXXXXX

・[前の伝言]または[次の伝言]をタッチして伝言メモを選べます。

■ **電話をかける：📞**

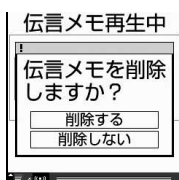
・CLR▶[テレビ電話]▶[次の項目]をタッチして[伝言メモ]を表示したときは、📞を押すとテレビ電話がかかります。

■ **削除する：[削除]▶[削除する]**

3 ［再生］

再生が終了すると、再生した伝言メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 再生中は次の操作ができます。
  - 停止：［**停止**］▶［**OK**］
  - 音量調整：［**再生音量**］▶［**上げる**］または［**下げる**］

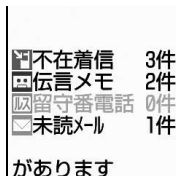
4 ［削除する］または［削除しない］をタッチする

不在着信、伝言メモ、留守番、未読メールがあったとき　着ガイド

不在着信、未再生の伝言メモ、留守番電話サービスの伝言メッセージ、未読の受信メールの存在は、着ガイドでお知らせします。

- 何も操作しないまま約60秒が経過すると、着ガイドは自動的に消えます。［**戻る**］またはCLRを押して表示を消すこともできます。
- フォーカスモードアイコンが表示中の待受画面から📷を押すと着ガイドを表示できます。
- FOMA端末を開いて操作中に、いずれかの件数が増加すると、待受画面に戻す操作をしたときに着ガイドが表示されます。

例　不在着信を確認するとき

1 FOMA端末を開く

着ガイドが表示されます。

着ガイド

2 ［不在着信］をタッチする

- ［**前の着信履歴**］または［**次の着信履歴**］をタッチして表示を切り替えられます。

■ **電話をかける：［電話をかける］**

■ **伝言メモを再生する：［伝言メモ］▶［確認］▶［再生］**

■ **留守番電話サービスの伝言メッセージを再生する：［留守番電話］▶［再生する］**

■ **未読メールを表示する：［未読メール］▶［本文を見る］**

10キーモード編P89、99、102

FOMA端末電話帳を登録／修正／削除する

- 3キーモードではグループの設定や変更はできません。3キーモードで電話帳を新規登録すると「グループなし」に設定されます。グループは、6キーモードまたは10キーモードで設定してください。☛P24、『10キーモード編』P90

FOMA端末電話帳に登録する　電話帳登録

1 ［電話］▶［電話帳登録／削除］が表示されるまで［次の項目］をタッチ

2 ［電話帳登録／削除］

次の手順で登録します
❶名前
❷フリガナ
❸電話番号
❹メールアドレス
❺画像選択
登録しない項目は、
「入力せず次」を押す

3 ［新しく登録］

4 ［入力する］▶名前を入力

- 名前を入力しないと他の項目を入力できません。

5 ［編集せず次］

- フリガナを修正する：［**編集する**］▶フリガナを修正

6 ［入力する］▶電話番号を入力

7 ［入力する］▶メールアドレスを入力

8 ［選択する］▶画像を選択▶［選択する］

電話帳登録

入力は以上で
終了です

- 入力した内容を確認せずに登録するときは操作12に進みます。

9 ［確認］▶名前と電話番号を確認

名前：ドコモ太郎
かな：ﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ
番号：
090XXXXXXXX

10 ［次へ］▶メールアドレスを確認

名前：ドコモ太郎
かな：ﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ
メールアドレス：
docomo.taro.△△@d
ocomo.ne.jp

11 ［次へ］▶画像を確認

名前：ドコモ太郎
かな：ﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ
画像：

12 ［登録］をタッチする

電話帳を修正／削除する

電話帳修正／電話帳削除

例 電話帳を修正するとき

1 **［電話］▶［電話帳登録／削除］が表示されるまで［次の項目］をタッチ▶［電話帳登録／削除］**

2 **［登録しているデータを変更］が表示されるまで［次の機能］をタッチ▶［登録しているデータを変更］**

登録データを変更

検索行を
選択してください

• 削除する：［**登録しているデータを削除**］が表示されるまで［**次の機能**］をタッチ▶［**登録しているデータを削除**］

3 **電話帳を検索**

ドコモ太郎
ﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ

090XXXXXXXX
docomo.taro.△△@docomo.ne.jp

• 操作方法は「FOMA端末電話帳から電話をかける」の操作 2 と同じです。

4 **［変更する］**

名前

ドコモ太郎

• 削除する：［**削除する**］

5 **電話帳データを修正▶［登録］**

• 修正するときは［**編集する**］、修正しないときは［**編集せず次**］をタッチします。
• 名前を削除すると他の項目を修正できません。削除した場合、再び名前を入力すると、他の項目は修正前の状態で表示されます。

6 **［登録する］をタッチする**

10キーモード編P94

FOMA端末電話帳から電話をかける

電話帳検索

例 音声電話をかけるとき

1 **［電話］▶［電話帳］**

表示する行を
選択してください

メインディスプレイ

タッチパネル

2 **［あ行］～［その他］▶［前の電話帳］または［次の電話帳］で相手を表示**

ドコモ太郎
ﾄﾞｺﾓﾀﾛｳ

090XXXXXXXX
docomo.taro.△△@docomo.ne.jp

3 **［電話をかける］または☎を押す**

• 10キーモードで複数の電話番号が登録されている相手の場合は、［**前の電話番号**］または［**次の電話番号**］をタッチして選択します。
• ［**電話をかける**］を1秒以上タッチすると、スピーカーホン機能がONになります。

おしらせ

● 以下の手順でテレビ電話がかけられます。
• 待受画面で CLR ▶［**テレビ電話**］▶［**電話帳**］▶［**あ行**］～［**その他**］▶［**前の電話帳**］または［**次の電話帳**］で相手を表示▶［**テレビ電話をかける**］または ☎

少ないキー操作で電話をかける

10キーモードで登録したFOMA端末電話帳のメモリ番号が0～9の相手には、簡単な操作で電話がかけられます。

例 音声電話をかけるとき

1 [電話]▶[番号入力]が表示されるまで[次の項目]をタッチ

2 [番号入力]

3 メモリ番号を入力▶[ ]または を押す

おしらせ

- 以下の手順でも音声電話またはテレビ電話がかけられます。
  - 待受画面で CLR ▶[テレビ電話]▶[番号入力]が表示されるまで[次の項目]をタッチ▶[番号入力]▶メモリ番号を入力 ▶[ ](音声電話の場合)または[ ]／ (テレビ電話の場合)
  - 待受画面で ▶メモリ番号を入力▶[ ]または[ ]

直デンメニューを利用する

直デンメニュー

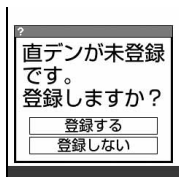
直デンメニューに電話帳データを登録すると、簡単に電話をかけられます。

直デンメニューを登録する

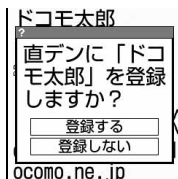
1 CLR CLR

直デンメニューが表示されます。

タッチパネル

2 [未登録]

3 [登録する]

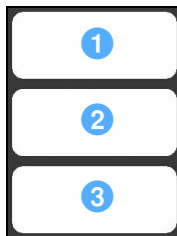
4 電話帳を検索

5 [選択する]

6 [登録する]をタッチする

- 直デンメニューには登録した相手の名前が表示されます。

おしらせ

- 登録した電話帳データに画像が登録されている場合は、直デンメニューには画像が表示されます。
- 以下の場合、直デンの登録が解除されます。
  - 直デンメニューに登録されている電話帳データを削除したとき
  - 直デンメニューに登録されている電話帳データに、10キーモードでシークレット属性を設定したとき
  - 10キーモードで、直デンメニュー登録済みの電話帳データと同じメモリ番号を指定して電話帳を登録したとき
- 直デンメニューの登録は、3 キーモードと 6 キーモードで以下のように対応しています。

3キーモード

6キーモード

直デンメニューを変更／解除する

直デンメニューを変更する

1

タッチパネル

2 登録済みのキーをタッチ

3 ［上書き登録をする］が表示されるまで［次の操作］をタッチ

4 ［上書き登録をする］をタッチする

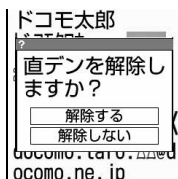
・以降の操作は「直デンメニューを登録する」の操作4以降と同じです。☛P55

直デンメニューを解除する

1 CLR CLR

2 登録済みのキーをタッチ

3 ［解除する］が表示されるまで［次の操作］をタッチ

4 ［解除する］

5 ［解除する］をタッチする

直デンメニューを使って電話／メールする

例 電話をかけるとき

1 CLR CLR

2 登録済みのキーをタッチ

3 ［電話をかける］または☎を押す

・10キーモードで複数の電話番号が登録されている相手の場合は、［**前の電話番号**］または［**次の電話番号**］をタッチして選択します。

・メールを送信する：［**メールを書く**］が表示されるまで［**次の操作**］をタッチ▶［**変更せず次**］をタッチ
以降の操作は「ｉモードメールを作成して送信する」の操作3以降と同じです。☛P60

おしらせ

●待受メニューで［**電話**］を2秒以上タッチすると、直デンメニューの1つめ（最上段）に登録されている相手の1件目の電話番号に音声電話をかけることができます。

カメラ(3 キーモード)

10キーモード編P152

静止画を撮影する

静止画撮影

アウトカメラで待受用(240×320)のサイズの静止画を撮影できます。

1 ［カメラ］(2秒以上)

カメラが起動します。

- ［**カメラ**］▶［**写真を撮る**］をタッチしてもカメラが起動します。

2 被写体にカメラを向けて［撮影する］

- ［**倍率大**］または［**倍率小**］をタッチすると表示倍率が変えられます。タッチし続けると連続して表示倍率が変わります。

3 ［保存する］をタッチする

- 保存しない：［**保存しない**］

静止画を見る

1 ［カメラ］▶［写真を見る］

2 写真をタッチする

写真が表示されます。

■ **メールに添付して送信する：写真をタッチ▶［写真をメールで送る／他］▶［メール作成］**

メール作成画面が表示されます。

- 6キーモードまたは10キーモードで撮影した待受用(240×320)より大きな画像は、待受サイズ(240×320または320×240)に自動的に変換されて保存されます。確認画面が表示されたら［**OK**］をタッチします。
- 以降の操作は「iモードメールを作成して送信する」と同じです。☛P60

■ **削除する：写真をタッチ▶［写真をメールで送る／他］▶［削除］が表示されるまで［次の機能］をタッチ▶［削除］▶［削除する］**

■ **待受画面に設定する：写真をタッチ▶［写真をメールで送る／他］▶［待受に設定］が表示されるまで［次の機能］をタッチ▶［待受に設定］▶［設定する］**

ｉモード／メール(3 キーモード)

10キーモード編P187

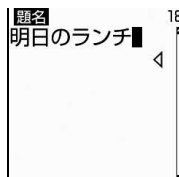
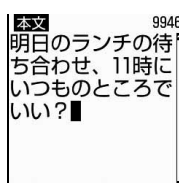
ｉモードメールを作成して送信する

ｉモードメール作成・送信

1 ［メール］▶［メールを書く］

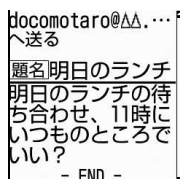
2 ［入力する］▶［文字入力］▶ 宛先を入力

■ 電話帳から宛先を入力する：［入力する］▶［電話帳から］▶ 電話帳を行検索 ▶［選択する］

3 ［入力する］▶ 題名を入力

4 ［入力する］▶［文字入力］▶ 本文を入力

■ 例文を入力する：［入力する］▶［例文］▶［前の文章］または［次の文章］で例文を表示 ▶ 例文を選択 ▶［文字入力せず次］

・例文は本文の先頭に入力されます。

5 送信する内容を確認

docomotaro@ΔΔ.…
へ送る
題名 明日のランチ
明日のランチの待
ち合わせ、11時に
いつものところで
いい？
－ END －

6 ［送信］をタッチする

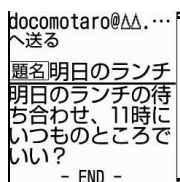
・［送信］が表示されていないとき：［送信］が表示されるまで［次の機能］をタッチ ▶［送信］

10キーモード編P191

ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する

ｉモードメール保存

ｉモードメールを保存する

1 送信内容の確認画面で［保存する］が表示されるまで［次の機能］をタッチ

2 ［保存する］をタッチする

ｉモードメールが未送信メールに保存されます。

送信・保存したｉモードメールを編集・送信する

例 未送信メールを編集するとき

1 ［メール］▶［メールを見る］

2 ［送信メール］

3 ［未送信メール］

To 未送信
07/05/20 16:20
docomotaro@ΔΔ.…
へのメールです
題名 明日のランチ
明日のランチの待
ち合わせ、11時に

・送信メールを編集する：［**送信済みメール**］

4 ［本文を見る］

To 未送信
07/05/20 16:20
docomotaro@ΔΔ.…
へのメールです
題名 明日のランチ
明日のランチの待
ち合わせ、11時に

・［**他のメール**］をタッチしてメールを選べます。

5 ［編集する］

・［**編集する**］が表示されていないとき：
［**編集する**］が表示されるまで［**次の機能**］をタッチ▶［**編集する**］

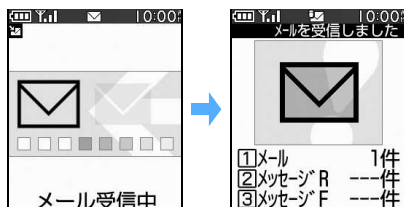
6 メールを編集して送信する

おしらせ

●6キーモードまたは10キーモードで圏内自動送信設定したメールを編集すると、圏内自動送信設定は解除されます。

10キーモード編P192

iモードメールを受信したときは

メール自動受信

1 iモードメールを受信

2 受信結果画面で［メール］

・後で表示する：［**後で見る**］
着ガイドが表示されます。
・着ガイドについては☛P52

3 ［本文を見る］をタッチする

To 既読
07/05/20 10:00
docomotaro@ΔΔ.…
からのメールです
題名 本日の会議
本日の会議は本社
第三会議室で行い

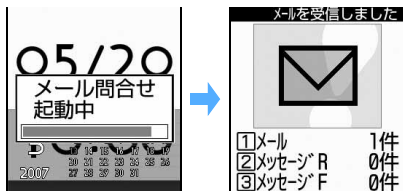
・［**他のメール**］をタッチしてメールを選べます。

・本文の内容がすべて表示されていないときは、［**続きを見る**］をタッチして［**上へ**］または［**下へ**］をタッチして画面をスクロールします。

10キーモード編P194

i モードメールがあるかどうかを問い合わせる

i モード問合せ

1 [メール]を２秒以上タッチする

- CLR▶[設定]▶[メール問合せ]が表示されるまで[次の項目]をタッチ▶[メール問合せ]をタッチしても問い合わせられます。

10キーモード編P194

i モードメールに返信する

i モードメール返信

- SMSの場合は返信できません。

1 [メール]▶[メールを見る]

2 [受信メール]

3 [本文を見る]

- [他のメール]をタッチしてメールを選べます。

4 [返信する]

- [返信する]が表示されていないとき：
  [返信する]が表示されるまで[次の機能]をタッチ▶[返信する]

5 メールを編集して送信する

10キーモード編P195

i モードメールを他の宛先に転送する

i モードメール転送

- SMSの場合は転送できません。

1 [メール]▶[メールを見る]

2 [受信メール]

3 [本文を見る]

- [他のメール]をタッチしてメールを選べます。

4 [転送する]が表示されるまで[次の機能]をタッチ▶[転送する]

5 メールを編集して送信する

10キーモード編P195

ｉモードメールから添付ファイルを表示する　添付ファイル表示

1 ［メール］▶［メールを見る］

2 ［受信メール］

3 ［本文を見る］
- ［**他のメール**］をタッチしてメールを選べます。

4 ［続きを見る］▶［下へ］をタッチして画面をスクロールする

メール本文中に画像が表示されます。

10キーモード編P198

受信／送信メールBOXのメールを表示する　受信メールBOX／送信メールBOX

- 3キーモードではメッセージR／Fは閲覧できません。

例 受信メールを表示するとき

1 ［メール］▶［メールを見る］

2 ［受信メール］
- 送信メールを表示する：［**送信メール**］▶［**送信済みメール**］
- 未送信メールを表示する：［**送信メール**］▶［**未送信メール**］

3 ［本文を見る］をタッチする
- ［**他のメール**］をタッチしてメールを選べます。

メールアドレスを確認／登録する

メールアドレスを確認する

例 受信メールのアドレスを確認するとき

1 メールを表示

2 ［送信者アドレスを表示する］が表示されるまで［次の機能］をタッチ
- 送信メール、未送信メールを確認する：［**宛先アドレスを表示する**］が表示されるまで［**次の機能**］をタッチ

3 ［送信者アドレスを表示する］をタッチする
- 送信メール、未送信メールを確認する：［**宛先アドレスを表示する**］

メールアドレスを登録する

例 受信メールのアドレスを登録するとき

1 メールを表示

2 ［送信者アドレスを登録する］が表示されるまで［次の機能］をタッチ
- 送信メール、未送信メールを登録する：［**宛先アドレスを登録する**］が表示されるまで［**次の機能**］をタッチ

3 ［送信者アドレスを登録する］
- 送信メール、未送信メールを登録する：［**宛先アドレスを登録する**］

4 電話帳にアドレスを登録する
- 以降の操作は「FOMA 端末電話帳に登録する」の操作4以降と同じです。☛P53

メールアドレスは入力されています。

受信／送信メールを削除する

1 メールを表示

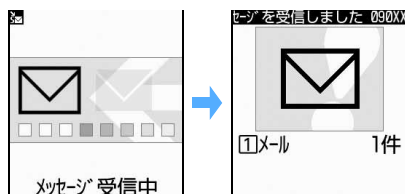
2 ［削除する］が表示されるまで［次の機能］をタッチ

3 ［削除する］▶［削除する］をタッチする

10キーモード編P215

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは

SMS受信

1 SMSを受信

2 ［メール］▶［本文を見る］をタッチする

- 後で表示する：［**後で見る**］

その他の便利な機能(3 キーモード)

10キーモード編P270

指定した時刻に目覚まし音を鳴らす

目覚まし

目覚まし音を鳴らす時刻を設定する

例 「目覚まし 1」に設定するとき

1 CLR ▶［設定］▶［目覚まし］

設定：OFF — 設定中の場合は「ON」と表示されます。

2 ［目覚まし 1］

- 目覚まし2〜6に設定する：［**前の目覚まし**］または［**次の目覚まし**］で設定する目覚ましを表示してタッチ

時刻 00:00
繰り返し なし
日 月 火 水 木 金 土

3 ［編集する］

①②③
予定の時刻を
入力して下さい
時刻 00:00

- 時刻などを変更しないときは［**ON にする**］をタッチすると目覚ましが設定されます。

4 ［入力する］▶時刻を入力

時刻 00:00

5 繰り返しを設定

時刻 10:00
繰り返し 毎日
日 月 火 水 木 金 土
設定しますか？

- 毎日繰り返す：［**繰り返す**］▶［**毎日**］
- 曜日を指定する：［**繰り返す**］▶［**曜日選択**］▶曜日を選択▶［**決定**］
- 1回だけ起動する：［**繰り返さない**］

6 ［設定する］をタッチする

待受画面に🔔が表示されます。

■ **目覚ましを解除する：操作3で［OFFにする］**

設定時刻になると

1 目覚まし音が鳴る

2 ［OK］をタッチする

目覚まし音が止まります。

- 📞、CLR、📞、📷 を押しても止まります。

10キーモード編P272

スケジュールを表示する

スケジュール帳

6 キーモードまたは 10 キーモードで登録したスケジュールの設定日時になったとき、画面表示やアラーム音でお知らせします。

- 6キーモードでスケジュールを登録するには
☛P38

設定日時になると

1 **アラームが鳴る**

スケジュールの内容が表示されます。

2 **[OK]をタッチする**

アラームが止まります。

- ㊟、CLR、㊟、[カメラ]を押しても止まります。
- スケジュールの内容がすべて表示されていないときは、[上へ]または[下へ]をタッチしてスクロールします。

メニューパッケージを設定する

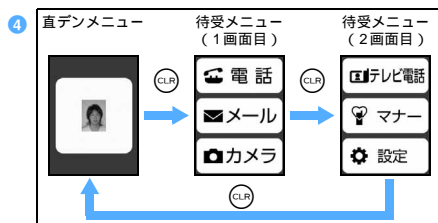
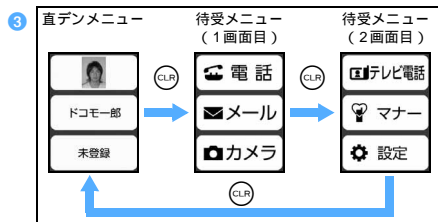
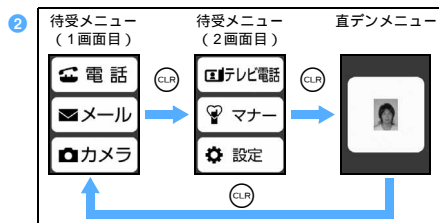
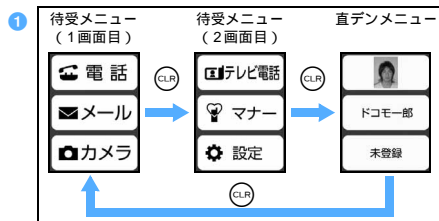
メニューパッケージ設定

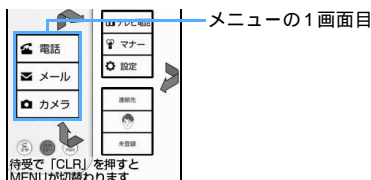
タッチパネルに表示するメニュー(待受メニュー/直デンメニュー)の組み合わせを変更できます。

❶

❷

❸

❹

1 **CLR▶[設定]▶[メニューパッケージ設定]が表示されるまで[次の項目]をタッチ**

2 **[メニューパッケージ設定]**

3 **[次のパッケージ]をタッチして設定するメニューパッケージを表示**

4 **[設定する]をタッチする**

10キーモード編P126

テーマカスタマイズを設定する

テーマカスタマイズ設定

メインディスプレイに表示する待受画面、電池マーク、時計表示やタッチパネルのキーのデザインを変更できます。

1 CLR▶［設定］▶［テーマカスタマイズ設定］が表示されるまで［次の項目］をタッチ

2 ［テーマカスタマイズ設定］

3 ［次のテーマ］をタッチして設定するテーマを表示

4 ［設定する］をタッチする

10キーモード編P280

自分の電話番号を確認する

自局番号

- 自分の名前やメールアドレスの登録は10キーモードで行います。

1 ［電話］▶［自局番号］が表示されるまで［次の項目］をタッチ

2 ［自局番号］をタッチする

携帯花子
090XXXXXXXX
docomotaro@ΔΔ.□□□.co.jp

10キーモード編P46

6キーモード／10キーモードへ切り替える

モード選択

例　10キーモードへ切り替えるとき

1 CLR▶［設定］▶［モード選択］が表示されるまで［次の項目］をタッチ

2 ［モード選択］

3 端末暗証番号を入力

- 端末暗証番号については☞『10キーモード編』P132、P133

4 ［10キーモードに切り替え］▶［OK］をタッチする

再起動され、10キーモードに切り替わります。
- 6キーモードへ切り替える：
  ［6キーモードに切り替え］▶メニューパッケージを設定☞P40

スキャンモードを設定する

スキャンモード設定

外部スイッチ接続ケーブル（別売）で外部スイッチ（市販品：支援機器）※1をFOMA端末に接続すると、外部スイッチでFOMA端末を操作できます。また、タッチパネル全体を1つのキーとして操作することもできます。スキャンモードには「オートスキャン」と「ステップスキャン」の2種類があります。

※1：外部スイッチとは、各種対応機器と接続して、体の不自由なかたなどが、その機器を操作することを支援する支援機器のひとつです。

■ **オートスキャン**

タッチパネルのキーのフォーカスが、設定した時間ごとに自動で移動します。キーがフォーカスされているときに、外部スイッチを押して項目を選択したり、機能を実行できます。

■ **ステップスキャン**

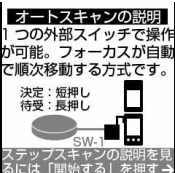
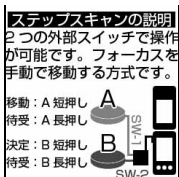
外部スイッチ(移動用)でタッチパネルのキーのフォーカスを移動させ、外部スイッチ(決定用)で項目を選択したり、機能を実行できます。
ステップスキャンを使用するときは、外部スイッチ接続ケーブルのSW-1端子に外部スイッチ(移動用)、SW-2端子に外部スイッチ(決定用)を接続します。

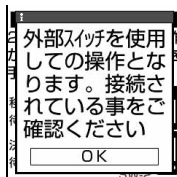
例 「2.0秒」でキーのフォーカスが移動するオートスキャンを設定するとき

1 外部スイッチ接続ケーブルのSW-1端子(またはSW-2端子)に外部スイッチを接続

2 外部スイッチ接続ケーブルをFOMA端末のイヤホンマイク端子に接続

3 CLR▶[設定]▶[スキャンモード設定]が表示されるまで[次の項目]をタッチ

4 [スキャンモード設定]

5 [開始する]

6 [オートスキャン]

・ステップスキャンを設定する：
[**ステップスキャン**]

7 [OK]

・ステップスキャンのときは、ステップスキャンが開始されます。

8 [設定する]

9 [2.0秒]が表示されるまで[➡]をタッチ▶[2.0秒]

・[➡]をタッチすると次の順に切り替わります。[⬅]をタッチすると逆の順になります。
0.7秒→1.0秒→1.5秒→2.0秒→3.0秒→4.0秒

10 [開始する]をタッチする

待受画面に戻り、オートスキャンが開始されます。

オートスキャンを使用する

オートスキャンは自動的にフォーカスが移動します。

例 自分の電話番号を確認するとき

1 [スキャンモード設定]でオートスキャンを開始させる

タッチパネル

2 [電話]がフォーカスされたときに、外部スイッチを押す

タッチパネル

3 [前の項目]がフォーカスされたときに、外部スイッチを押す

タッチパネル

4 [自局番号]がフォーカスされたときに、外部スイッチを押す

自局番号が表示されます。

ステップスキャンを使用する

ステップスキャンでは外部スイッチ(移動用)を押してフォーカス移動を行います。

例 自分の電話番号を確認するとき

1 [スキャンモード設定]でステップスキャンを開始させる

2 外部スイッチ(移動用)を押して[電話]をフォーカスさせる

タッチパネル

3 外部スイッチ(決定用)を押す

タッチパネル

4 **外部スイッチ(移動用)を押して[前の項目]をフォーカスさせる**

タッチパネル

5 **外部スイッチ(決定用)を押す**

タッチパネル

6 **外部スイッチ(移動用)を押して[自局番号]をフォーカスさせる**

タッチパネル

7 **外部スイッチ(決定用)を押す**

自局番号が表示されます。

スキャンモードを解除する

スキャンモード解除

例 オートスキャンを解除するとき

1 **[設定]がフォーカスされたときに、外部スイッチを押す**

2 **[前の項目]がフォーカスされたときに、外部スイッチを2回押し[スキャンモード設定]を表示させる**

3 **[スキャンモード設定]がフォーカスされたときに、外部スイッチを押す**

4 **[解除する]がフォーカスされたときに、外部スイッチを押す**

5 **外部スイッチ接続ケーブルを取り外す**

スキャンモード利用時の留意事項

外部スイッチ操作について

オートスキャンの場合

待受画面表示中に、外部スイッチを1秒以上押すと、フォーカスの位置に関わらず直デンメニューの1つめに登録されている相手の1件目の電話番号に音声電話がかかります。

ステップスキャンの場合

待受画面表示中に、外部スイッチ(移動用)または外部スイッチ(決定用)を1秒以上押すと、フォーカスの位置に関わらず直デンメニューの1つめに登録されている相手の1件目の電話番号に音声電話がかかります。

タッチ操作について

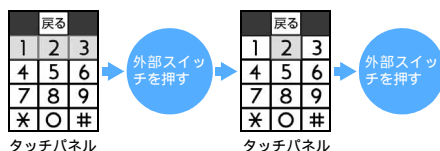
オートスキャンの場合

外部スイッチを押す代わりに、タッチパネルをタッチしても決定できます。この場合、タッチパネル上のどこをタッチしてもかまいません（タッチパネル全体が1つのキーとして機能します）。
また、待受画面表示中にタッチパネルを１秒以上タッチすると、直デンメニューの１つめに登録されている相手の１件目の電話番号に音声電話がかかります。

ステップスキャンの場合

外部スイッチ（移動用）を押す代わりに、タッチパネルをタッチしてもフォーカス移動できます。この場合、タッチパネル上のどこをタッチしてもかまいません（タッチパネル全体が1つのキーとして機能します）。
また、外部スイッチ（決定用）を押す代わりに、タッチパネルを1秒以上タッチしても決定できます。

フォーカスについて

- ●待受メニューまたは直デンメニューの表示中、フォーカス移動が２巡した後、次の待受メニューまたは直デンメニューが表示されます。
- ●待受メニュー以外のメニューや機能選択の画面では、フォーカス移動が2巡した後に、前の画面に自動的に戻ります（電話中、メール作成／送信／受信／表示中、カメラ撮影中、文字入力中、確認画面表示中、電話帳登録中の一部画面※1、目覚まし設定中の一部画面※2などを除く）。
  - ※１：「戻る」操作で電話帳登録が終了する画面、入力項目がすべて完了した際の表示画面
  - ※２：「戻る」操作で目覚まし設定が終了する画面、時刻設定や繰り返し曜日選択画面
- ●ステップスキャン時に、フォーカス移動や決定操作を行わなかったときは約５秒後にフォーカスが消えます。
- ●フォーカスが消えているときに外部スイッチを押すかタッチパネルをタッチすると、再びフォーカス移動が始まります。
- ●FOMA端末を閉じるとフォーカスは消えます。
- ●電話番号の入力や文字入力などの画面では、最初、フォーカスは行単位に移動します。目的の文字などを含む行が選択されると、フォーカスはその行内を列方向に移動するようになります。列方向のフォーカス移動が２巡すると、フォーカスは再び行単位に移動します。

中止操作について

オートスキャンのときはフォーカス表示に関わらず、待受画面以外で外部スイッチ（移動用または決定用）を１秒以上押すか、タッチパネルを１秒以上タッチすると、待受画面に戻ります。その他、以下のように動作します。

- ・発信中、通話中→発信または通話が終了
- ・着信中→着信が切断（不在着信あり）
- ・電話帳登録中／編集中、メール編集中（未確定文字）、カメラ撮影中など→保存前のデータは破棄
- ・メール送受信中→中断

その他

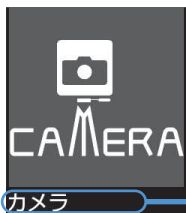
- ●スキャンモード中は、設定に関わらず、文字入力は２タッチ入力方式になります。また、文字入力画面の［MENU］→［**設定 他**］の機能は使用できません。
- ●スキャンモード中でも、CLR、、の操作はできます。
- ●スキャンモード中に番号入力で電話を発信するときは、ポーズ（P）、タイマー（T）を入力できません。電話帳に登録されているポーズ（P）、タイマー（T）は有効です。
- ●スキャンモード中は、自動的にスピーカーホン機能がONになります。
- ●スキャンモード中での通話中の受話音量調整の画面は、［**戻る**］を操作するか、フォーカス移動が２巡しないと通話中画面には戻りません。

索引

索引

索引の引きかた

FOMA端末の画面に表示される機能名などから調べるときや、あらかじめ機能名やサービス名がわかっているときに索引から探します。

 6キーモードでカメラ撮影したいとき

6キーモードの説明ページは黒で、3キーモードの説明ページは青で表記しています。また、共通の説明ページは**太字**で表記しています。

ア

カ

サ

タ

ハ

マ

ラ

数字・英字

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ず FOMA 端末の電源を切ってください。

・ 航空機内　・ 病院内

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ **運転中の場合**

運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※ 車を安全なところに停車させてからご使用になるか、公共モード（ドライブモード／電源 OFF）をご利用ください。

■ **満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合**

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ **レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。**

■ **街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。**

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA 端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

- **マナーモード ☛P21、P50、『10 キーモード編』P113**
- **オリジナルマナーモード ☛『10 キーモード編』P114**
- **公共モード（ドライブモード／電源 OFF） ☛P21、P50、『10 キーモード編』P73、P74**
- **バイブレータ ☛『10 キーモード編』P112**　**●伝言メモ ☛P22、P51、『10キーモード編』P75**

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。
☛『10キーモード編』P292、P294

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから　i Menu ▶ 料金&お申込･設定 ▶ ドコモeサイト　パケット通信料無料

パソコンから　My DoCoMo(http://www.mydocomo.com/) ▶ 各種手続き(ドコモeサイト)

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方･お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

ドコモ「あんしん」ミッション
みんなが、安心を、携帯できる世の中へ。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元 三菱電機株式会社

・「モード選択」で「6キーモード」や「3キーモード」を選択すると、タッチパネルに表示される、目的のメニュー項目をタッチするだけで、簡単にメニュー操作が行えます。
・「スキャンモード」により、外部接続されたスイッチなどで電話やメールなどの操作が行えます。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

860D237A
'07.2（1版）